

2019 年度

# 履修科目登録要項

法 学 部

東北学院大学

この要項をよく読み、指定された手順に従って科目登録の作業を行ってください。

科目登録は「東北学院ポータル My TG」の教学系システムの「履修」メニューを使用して行います。「履修申請」画面で、通年・前期、後期、集中講義に希望する科目が登録されているか、必ず確認してください。

『大学要覧（Syllabus）』は新生にのみ冊子を配付します。在学中は大切に保管してください。  
2年生以上の学生は「東北学院大学」のホームページ、もしくは【My TG】にログインし、「シラバス情報照会」から参照してください。

#### 《東北学院ポータルサイト「My TG」へのアクセス》

アドレス <https://portal.tohoku-gakuin.jp/> または、  
大学ホームページから「My TG」のバナーをクリック  
※スマートフォンでの利用は動作保障の対象外です。  
利用の際は参照程度にしてください。



#### 1年生へ（学生番号 19xxx ～）

まずは、「法学部のカリキュラムについて知っておくためのQ & A」(16頁～21頁)を読んでください。  
1年次に配当されている必修科目等は、22頁の表に記載のとおりです。

#### 2年生へ（学生番号 18xxx ～）

昨年度に予備登録を行った「基礎演習Ⅱ」は、My TG〔履修申請画面〕において「登録済」の科目として表示されています。

「スポーツ実技」の履修を希望する者は、別紙『保健体育科目について』を参照してください。  
2年生の履修科目について注意すべきことは、23頁に記載されています。

#### 3年生へ（学生番号 17xxx ～）

昨年度に予備登録を行った「演習一部」「コース総合演習A」「コース総合演習B」「外国書講読」は、My TG〔履修申請画面〕において「登録済」の科目として表示されています。

法学部では、卒業見込証明書は、3年次終了時において取得単位数が76単位以上の学生に対して発行しています。今年度中に76単位以上の単位を修得できるように科目登録をしてください。

3年生に対する注意事項は23頁に記載されています。

#### 4年生へ

昨年度に予備登録を行った「演習二部」は、My TG〔履修申請画面〕において「登録済」の科目として表示されています。

法学部では、3年次終了時において取得単位数が80単位に満たない学生に対しては卒業見込証明書を発行しません。

4年生に対する注意事項は、24頁に記載されています。

※本人住所、保証人住所等に変更があった場合には必ず学生本人が指定の用紙で手続きをしてください（急な連絡事項があった場合には本人連絡先宛に連絡する場合があります。必ず変更の手続きをしてください）。

# 目 次

1. 科目登録とは	2
2. 授業科目の分類	2
3. 科目登録手続きについて	2
4. 科目登録の日程について	2
5. 科目登録手続き完了まで	3
6. 科目履修登録の後期修正登録について	4
7. 科目登録の基本的注意事項	4
8. 科目登録の本登録と予備登録について	6
9. 抽選科目について	7
10. 必修科目・前年度予備登録済科目の MyTG での取扱い	8
11. 既修得単位の認定について（新入生限定）	9
12. 大学以外の教育施設における学修の単位認定について	9
13. 科目登録についての注意事項	10
【コース制について】	10
【教養教育科目について】	12
【地域教育科目について】	13
【外国語科目について】	13
【保健体育科目について】	14
【専門教育科目について】	14
14. 法学部のカリキュラムについて知っておくための Q & A	16
〈1〉 1 年生の履修科目についての注意点	22
〈2〉 2 年生の履修科目についての注意点	23
〈3〉 3 年生の履修科目についての注意点	23
〈4〉 4 年生に対する注意事項	24
15. 他学部・他学科開講科目履修について	25
16. 単位互換の協定を締結している他大学開講科目の履修について	25
17. G P A の取り扱いについて	26
18. 早期（3 年次）卒業制度について	27
19. 教職課程（教育職員免許状を取得するには）	28
20. 保証人への成績の送付について	30
21. 卒業見込証明書の発行について	30
22. こんなときどうするの？（Q & A）	30
23. 専門教育科目とコース別卒業要件（コース選択用判別シート）	
○ 2019 年度入学生用	33
○ 2017 ～ 2018 年度入学生用	35
○ 2013 ～ 2016 年度入学生用	37

2019 年度授業時間割表（巻末）

# 1. 科目登録とは

科目登録とは、学則に定められた卒業の要件を満たすために、学科課程(カリキュラム)に基づいて学生が履修する授業科目を自ら決定し、自分の責任においてそれらの科目を届け出る(登録する)ことをいいます。大学に入学し、これから学ぼうとする皆さんにとって最も重要な手続ですので、この要項を熟読し、誤りがないようにしてください。まず初めに、[法学部のカリキュラムについて知っておくためのQ&A](16～21頁)を読んでから、前に戻って手続等の確認をすることをおすすめします。

# 2. 授業科目の分類

授業科目はそれぞれの拘束の度合いに応じて次の通り分類されています。科目登録をする際には十分注意してください。

- ◇必修科目 必ず修得しなければならない科目
- ◇選択必修科目 指定された科目群の中から選択し、必ず修得しなければならない科目
- ◇選択科目 指定された類内で適宜選択し、修得しなければならない科目
- ◇自由科目 卒業要件単位に含まれない科目

# 3. 科目登録手続きについて

- (1) 科目登録をするには My TG の ID、パスワードが必要です。  
My TG により科目登録をすることになりますが、ログインのときに ID とパスワードが必要です。My TG の使い方についての詳細は別冊子『Web 履修操作マニュアル』を参照してください。
- (2) 入学年度の学則、履修細則および学科課程表に従って科目登録してください。
- (3) 科目登録をしていない科目は、受講して試験を受けても、その単位を修得することはできません。  
単位修得を希望する科目については、必ず科目登録をした上で、履修してください。
- (4) 科目登録は年度当初4月に計画的に行います。なお、2013年度以降入学生は後期に修正登録が可能です(詳細は3～4頁を参照してください)。
- (5) 科目登録について疑問がある場合は、指導期間内(3頁)に、学務係(泉キャンパス・1号館1階)または教務課法学部窓口(土樋キャンパス・8号館2階)に申し出て指導を受けてください。特に1年生にとっては初めての経験ですので、少しでも不明な点、疑問点がある場合は遠慮なく申し出てください。

# 4. 科目登録の日程について

## (1) 抽選科目受付期間

科目名	受付期間
3年 「キリスト教学A (キリスト教と倫理)」 「キリスト教学B (キリスト教と宗教)」 「キリスト教学C (キリスト教と文化)」 「キリスト教学D (キリスト教と現代社会)」	3月28日(木) 0:00～3月31日(日) 23:00
受講者制限科目 ⇒p.7参照	4月2日(火) 13:00～4月5日(金) 17:00

## (2) 科目登録期間

4月9日(火) 0:00～4月14日(日) 23:00

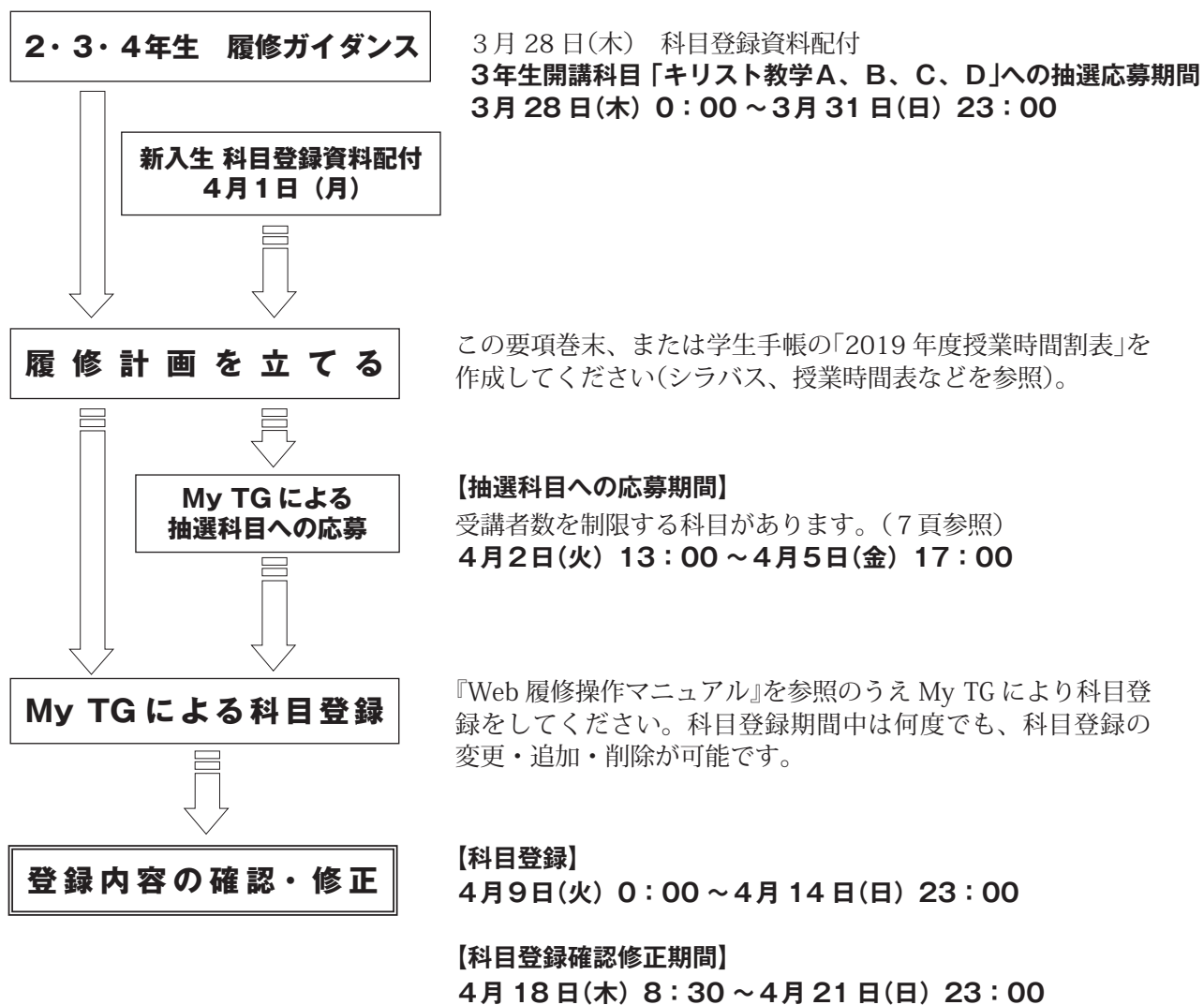
## (3) 科目登録修正期間

4月18日(木) 8:30～4月21日(日) 23:00

## 5. 科目登録手続き完了まで

科目登録は、次の手順及び日程により行います。登録手順の全てが完了するまで受付期間・時間などを厳守してください。

予備登録の必要な科目（7頁の表を参照）は、My TGの〔履修申請画面〕では、既に登録が行われている科目として表示されています。



注意) ☆通年科目、前期科目、後期科目が正しく登録されているかを確認してください。

☆必ず「コース選択希望情報保守」で希望コースの入力をしてください。

2・3年生(2017～2018年度入学生)は3コースの中から1つのコースを入力してください。

4年生(2016年度以前入学生)は6つのコース全てに、優先順位の高い順に1～6を入力してください。

注意) My TGの〔履修申請画面〕で **申請** ボタンをクリックして登録完了となります。

登録完了後には、「履修登録科目確認通知書」をPDFファイルでまたはプリントして、必ず保管してください。

履修登録についての質問は、学務係窓口または教務課法学部窓口へ

【指導期間】 1年生：4月2日(火)～4月22日(月)

2～4年生：3月28日(木)～4月22日(月)

(※事務取扱時間内に限る。)

## 6. 科目履修登録の後期修正登録について

次の要領で、4月に行う科目登録について、後期開講科目に限り修正登録をすることができます。

### ◆対象

法学部の2013年度以降入学生

### ◆修正登録期間

9月26日(木)0:00～9月29日(日)23:00

### ◆修正登録内容

- 後期開講科目に限り、削除または追加することができます。  
※前期開講科目、通年開講科目は修正できません。  
※受講者制限科目は削除はできますが、追加はできません。
- 修正登録後の年間履修単位は、履修制限を超えることができません。

**【注意】 後期修正登録はあくまでも4月の履修登録を補完するものです。  
科目履修登録は年度当初4月に計画的に行ってください。**

## 7. 科目登録の基本的注意事項

### (1) 学部・学科・グループ指定科目の厳守

授業時間表において、学部・学科・グループ等が指定されている科目については、必ずその指定の曜日・校時で登録しなければなりません。

### (2) 学年次履修登録単位制限(履修上限単位数)

1年生から4年生までの学生が1年間に科目登録をすることのできる単位数は次表のとおりです。

入学年度	1年生～3年生	4年生
2019(平成31)年度	40単位 ☆(下記参照)	46単位
2018(平成30)年度	44単位	48単位
2017(平成29)年度		
2016(平成28)年度		
2015(平成27)年度		
2014(平成26)年度		
2013(平成25)年度		

☆2019年度入学生は、2年生または3年生になったとき、履修登録をする前年度の成績がGPA 3.0以上の場合には44単位まで履修登録することができます。

My TGでは履修上限単位数を超えて科目登録をすることはできず、My TG〔履修申請画面〕の「申請」ボタンをクリックしてもエラーとなり、登録完了の画面は表示されません。

### 【2017～2019年度入学生に適用】

法学部の卒業所要単位数にカウントされない以下の科目は、履修上限単位数の制限は適用されません。1年生(学生番号19xxx～)は40単位分の科目登録とは別に科目登録することができます(履修細則8条第1項但書)。

- ◇外国語科目第3類:(例)「ベーシック英語」、「英語Ⅲ」等
- ◇教育職員免許状の教科に関する科目:(例)「日本史要説」、「外国史要説」等
- ◇教職等に関する科目:(例)「現代教職論」、「教育心理学」、「教育課程論」等

これらの科目を登録する場合、My TG〔履修申請画面〕では上限単位数を超えていても登録完了の画面が表示されます。

### **【2011～2016年度年度入学生に適用】**

法学部の卒業所要単位数にカウントされない以下の科目は、履修上限単位数の制限は適用されません。(履修細則8条第1項但書)

◇自由科目：(例)「法曹養成実習Ⅰ」、「法曹養成実習Ⅱ」、「法曹養成実習Ⅲ」

◇教育職員免許状の教科に関する科目：(例)「日本史要説」、「外国史要説」等

◇教職等に関する科目：(例)「現代教職論」、「教育心理学」、「教育課程論」等

これらの科目を登録する場合、My TG〔履修申請画面〕では上限単位数を超えていても登録完了の画面が表示されます。

### **【2019年度の編入生、転学部生、再入学生】**

必要な指導を受けることで、3年生のときには、46単位まで科目登録をすることができます(履修細則第8条第3項但書)。

#### **(3) 同一科目の二重登録禁止**

同一名称の科目が異なる曜日・校時に開講されている場合がありますが、同一名称の科目を2つ以上登録することはできません。なお、例外として1つの科目なのに1週間に2回授業が行われる科目もあります(週2回開講科目)。

#### **(4) 配当年次登録の遵守**

授業科目は学科課程表に示された配当年次で科目登録をしてください。なお、在学年次より上級学年次の配当科目の科目登録はできません(例えば、1年生が2年次配当の科目を登録することはできません。逆に、3年生が2年次配当の科目を登録することは可能です)。

#### **(5) 単位修得済科目の登録禁止**

一度履修して既に単位を修得した科目は科目登録ができません。

#### **(6) キャンパス間移動の制限について**

泉キャンパスと土樋キャンパスを移動する必要がある場合は当該履修科目の前後の校時を1つ必ず空けなければなりません。礼拝時間および昼休み時間は移動時間として認められません。

#### **(7) 半期終了科目**

半期終了科目とは、前期又は後期のいずれかの学期に開講され、開講された学期だけで完結する授業科目を言います。これらの科目は、授業時間表の中で科目名の前に(前)や(後)が表示されています。(前)は前期開講前期完結を、(後)は後期開講後期完結を意味します。後期開講科目についても年度始めの科目登録期間内に一括して登録しなければなりません。後期修正登録は、あくまでも4月の科目登録を補完するものです。⇒p.4 参照

#### **(8) 週2回開講科目**

外国語科目の第2類は前期週2回開講されます。また、専門教育科目の中にも週2回開講されるものがあります。週2回開講科目を履修する場合、授業時間表に従い、各開講曜日・校時において登録することになります(なお、My TGでは週2回開講科目の何れかの曜日・校時を登録すれば、自動的にもう一つの曜日・校時にも当該科目が登録されます)。

#### **(9) 臨時開講科目(集中講義)**

臨時開講科目とは、ある一定期間に集中して開講される科目のことをいいます。そのため、これらについては授業時間表に曜日・校時の指定がありません。臨時開講科目の開講日時等については、全て掲示板によって連絡します。臨時開講科目はその講義期間に複数科目を同時に行うことが多いので、2科目以上履修する場合は開講時間帯が重複することがあります。この点を考慮して履修してください。なお、今年度開講される臨時開講科目は次のとおりです。

科 目	単 位	対象学年	担当者	開講時期（予定）
前) 海外研究 I	2	2 年	井出 達郎	別に指示する
前) 海外研究 II	2	2 年	井出 達郎	別に指示する
行政学 I ※ 1	2	3 年	藤井 浩司	9 月 予定
行政学 II ※ 1	2			1 月 予定
ローマ法 ※ 2	2	3 年	林 信夫	9 月 予定
フランス法	2	4 年	藤野美都子	9 月 予定
経済法 I ※ 1	2	4 年	中村 良	9 月 予定
経済法 II ※ 1	2	4 年		
社会保障法	2	4 年	阿部 未央	9 月 予定
国際取引法	2	4 年	平 覚	9 月 予定
国際私法 ※ 1	2	3 年	関口 晃治	9 月 予定

※ 1 2012 年度以前入学生は履修できません。

※ 2 2017 年度以降入学生は履修できません。

以下の科目は 2012 年度以前入学生のみ履修できる科目です。

科 目	単 位	対象学年	担当者	開講時期（予定）
行政学	4	3 年	藤井 浩司	9 月 予定
				1 月 予定
経済法	4	4 年	中村 良	9 月 予定

注 1：集中講義期間は、9 月 4 日(水)から 9 月 13 日(金)(8 日(日)は除く)まで、1 月 6 日(月)から 1 月 9 日(木)までの予定ですが、都合により上記期間以外に行われる場合がありますので、掲示に注意してください。

注 2：開講時期はあくまで予定です。正式の開講日時・校時は別に掲示して連絡しますので注意してください。

注 3：開講日時・校時が重複する可能性がありますので注意してください。

注 4：前期で修了した前期集中講義科目の履修期間の表記が、My TG 上、「後期集中」になっているところがあります。これは授業・時間割照会画面や履修申請状況画面等で見られますが、後期にも何か授業等が行われる訳ではありません。

注 5：前期集中講義科目の成績は、原則、後期成績発表時に公開されます。

#### (10) 卒業要件との関係で余裕をもった科目登録

卒業要件をよく理解して、余裕をもって科目登録してください。特に 4 年生は、一科目でも修得できなかったら卒業要件を満たせないという科目登録はしないようにしてください。

## 8. 科目登録の本登録と予備登録について

授業科目には、①本登録の前に予備登録を行わなければならない科目、②予備登録のみで本登録の必要のない科目(基礎演習 I)、③予備登録の必要のない科目があります。①は、下記の表に載っている科目(但し、「基礎演習 I」を除く)であり、③は、①・②以外の科目です。①の科目は、予備登録を行わなければ本登録ができないので、注意してください。

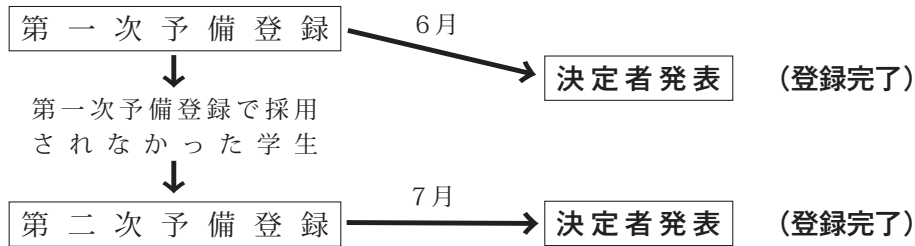
#### 〈予備登録が必要な科目とその時期〉

科 目 名	配当学年	予備登録の時期	本登録の時期	備 考
ス ポ ー ツ 実 技	2	2 年生の 4 月	科目登録期間	別紙「保健体育科目について」参照
基 礎 演 習 I	1	1 年生の 6 月	不 要	5 月中旬に予備登録の募集掲示をします。 コース総合演習は、各コース (p. 10 参照) に応じて開講されるものであり、当該コースを選択した人が優先的に採用されます。
基 礎 演 習 II	2	1 年生の 11 月	不 要	
演 習 一 部	3	2 年生の 11 月	不 要	
演 習 二 部	4	3 年生の 11 月	不 要	
外 国 書 講 読	3	2 年生の 11 月	不 要	
コース総合演習 A・B	3	2 年生の 11 月	不 要	



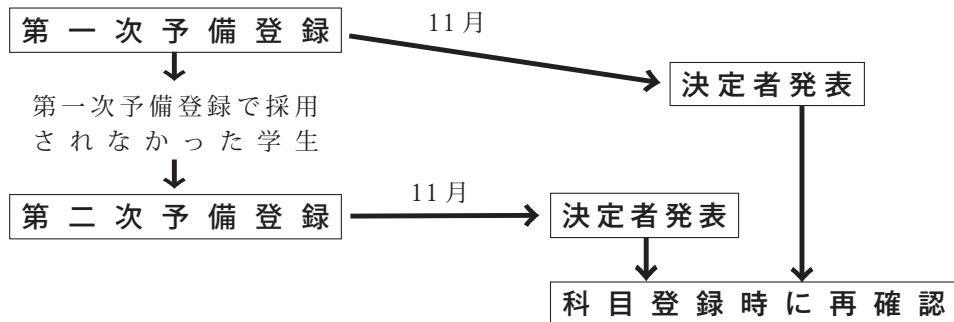
## 予備登録が必要な科目の手順について

### (1) 「基礎演習Ⅰ」(1年生担当)の科目登録手順



※科目登録期間に履修上限単位数まで科目登録している場合、たとえ「基礎演習Ⅰ」の予備登録用紙を提出しても、「基礎演習Ⅰ」の科目登録は認められません。「基礎演習Ⅰ」を履修するために次の2点に注意してください。①科目登録期間に登録する科目を原則として38単位以下にとどめること。②履修を希望する「基礎演習Ⅰ」の開講される曜日・校時の科目を登録しないこと。

### (2) 「基礎演習Ⅱ」(2年生担当)、「演習一部」・「外国書講読」・「コース総合演習A・B」(3年生担当)、「演習二部」(4年生担当)の科目登録手順



### (3) 「スポーツ実技」

別紙「保健体育科目について」参照

## 9. 抽選科目について

下表に挙げた科目は授業環境を整える(維持する)ため、受講者数を制限します。シラバス記載の「履修上の注意」を確認してください。履修登録を希望する場合は所定の期間に My TG [抽選授業履修申請]から応募してください。なお、受講者制限科目は修正登録期間に追加・削除することはできません。⇒抽選期間は p.2 参照

### (1) 教養教育科目

科目名称	対象学年	開講期	曜日・校時	担当教員
市民社会を生きる	1年生以上	前期	火・4	佐藤 優希
			火・4	岡田 康夫
			火・4	三條 秀夫
			水・2	井坂 正宏
歴史学基礎	1年生以上	後期	火・4	島津 諭志
社会学	1年生以上	前期	月・5	金菱 清
文学	1年生以上	前期	月・5	吉用 宣二
		後期	水・5	
東北地域論	2年生以上	後期	月・3	柳井 雅也
東北地域論	2年生以上	前期	月・3	和田 正春

メディア・リテラシー	2年生以上	前期	月・4	鈴木 努
			月・2	片瀬 一男
			月・5	片瀬 一男
地球社会を生きる	2年生以上	後期	木・1	楊 世英
健康の科学	2年生以上	前期	月・2	岡崎 勘造 金井 嘉宏
			金・3	岡崎 勘造 東海林 涉

## (2) キリスト教学 (対象：3年生及び4年生の再履修希望者)

3年生対象の「キリスト教学」は選択必修科目です。それぞれ上限を150名とする受講者制限をします。卒業のためには、いずれか1科目(2単位)の履修登録及び修得が必要です。所以、所定の期間にMy TG [抽選授業履修申請]から応募してください。 ⇒抽選期間は p.2 参照 ⇒別紙「キリスト教学」抽選登録要項参照

科目名	開講期	曜日・校時	担当教員
キリスト教学A (キリスト教と倫理)	前期	金・1	佐々木哲夫
キリスト教学D (キリスト教と現代社会)	前期		望月 修
キリスト教学B (キリスト教と宗教)	後期		佐々木哲夫
キリスト教学C (キリスト教と文化)	後期		望月 修

# 10. 必修科目・前年度予備登録済科目のMy TGでの取扱い

下表に挙げた必修科目および前年度に予備登録を実施した科目は、My TG「履修申請[申請状況画面]画面」において「登録済」の科目として表示されています。これらの科目を指定されているクラスで受講する場合、My TGであらためて登録をする必要はありません。

## (1) 必修科目

### [2019年度入学生]

科目名	開講期	開講学年
英語 I A	前期	1
英語 I B	後期	1
聖書を学ぶ	前期	1
キリスト教の歴史と思想	後期	1

### [2017～2018年度入学生]

科目名	開講期	開講学年	備考
英語 I A	前期	1	再履修対象者は、p.13～14参照
英語 I B	後期	1	
英語 II A	前期	2	
英語 II B	後期	2	

### [2013～2016年度入学生対象](再履修者)

科目名	開講期	開講学年	備考
英語 I A	前期	1	該当者の履修申請画面に【月曜5校時(再履修者用クラス)】を登録済の科目として表示します。
英語 I B	後期	1	
英語 II A (会話)	前期	2	該当者の履修申請画面に【月曜1校時(再履修者用クラス)】を登録済の科目として表示します。
英語 II B (会話)	後期	2	

## (2) 前年度予備登録済科目

科目名	開講期	開講学年	備考
基礎演習Ⅱ	前期または後期	2	決定者発表の通りに登録されているか確認すること。
演習一部	通年	3	
外国書講読	通年	3	
演習二部	通年	4	

## 11. 既修得単位の認定について（新入生限定）

大学又は短期大学（外国の大学及び短期大学を含む）を卒業あるいは中途退学し、新たに本学の1年次に入学した人は、本学入学前の大学又は短期大学の成績証明書とシラバスを**4月8日(月) 17:00**までに泉キャンパス学務係へ提出してください。本学入学前に大学又は短期大学において修得した単位を、本学の単位として認定することがあります（なお、認定する単位数には上限があります）。詳しくは学務係に申し出てください。

## 12. 大学以外の教育施設における学修の単位認定について

学則第24条の5第1項の規程に基づき、以下のとおり単位を認定します。

### (1) 「英語ⅡA」及び「英語ⅡB」の単位認定（開講学年：2年、各1単位）

実用英語検定2級以上、TOEFL（Internet-Based Total Score）56点以上、TOEICスコア550点以上のいずれかを取得した場合。

### (2) 「コミュニケーション技能」の単位認定（開講学年：1年、2単位）

「英語ⅡA」及び「英語ⅡB」を修得した者が実用英語検定2級以上、TOEFL（Internet-Based Total Score）56点以上、TOEICスコア550点以上のいずれかを取得した場合、または、その他の外国語I Bの単位を修得した者が、実用フランス語技能検定3級、ドイツ語技能検定3級、中国語検定3級、及びハンゲル能力検定3級のうち、いずれかを取得した場合。

### (3) 「法学専門技能」の単位認定（開講学年：3年、2単位）

法学検定試験委員会が実施する『法学検定試験スタンダード(中級)コース』に合格した場合。

### (4) 「卒業試験」の単位認定（開講学年：4年、2単位）**〔2017年度以降入学生対象〕**

「卒業試験」(4年次)に合格した場合のほか、下記のいずれかに合格した場合も、単位を認定します。

①司法試験予備試験、②司法書士試験、③弁理士試験、④行政書士試験、⑤宅地建物取引士試験、⑥土地家屋調査士試験、⑦不動産鑑定士試験、⑧マンション管理士試験、⑨社会保険労務士試験、⑩公認会計士試験、⑪税理士試験、⑫知的財産管理技能検定1級、⑬知的財産管理技能検定2級、⑭ビジネス著作権検定上級、⑮ビジネス著作権検定初級、⑯法学検定アドバンスト<上級>コース試験、⑰法学検定スタンダード<中級>コース試験、⑱ビジネス実務法務検定試験1級、⑲ビジネス実務法務検定試験2級、⑳ビジネス実務法務検定試験3級

**【申請方法】** 所定の申請書に記入し、「主催機関が発行した証明書・合格書等」の原本を添付の上、泉キャンパス学務係または土樋キャンパス教務課で手続きをしてください。

**【申請期限】** 2019年度 前期成績に反映される申請期限：2019年8月3日(土)  
2019年度 後期成績に反映される申請期限：2019年1月31日(金)

## 13. 科目登録についての注意事項

### 【コース制について】

法学部は、コース制を取り入れています。ここでは、それぞれのコースでの科目選択にあたっての注意や、コースの履修方法の概略について、簡単に説明します。

#### (1) 各コースの内容 (2017年度以降入学生)

##### 《政策・行政コース》

主として公務員(国家公務員、地方公務員〔警察官、消防官を含む〕、団体職員など)になることを目指す人のためのコースです。行政機関に関わる法的・政治的問題、行政機関と市民・民間との関係を中心に、広い分野の法学・政治学の知識を身につけ、公共の利益を実現する政策に関わる人材になることを、最も重要な目標としています。

##### 《企業法務コース》

主として企業で活躍することを目指す人のためのコースです。法的なものの考え方(リーガル・マインド)を身につけ、大学で培った法学的な分析力や判断力を、企業の活動や市民としての暮らしに活かして(法的リスクの管理や法令順守等の観点から)社会に貢献する人材となることを、最も重要な目標とします。

##### 《法律専門職コース》

法律を専門とする職業(法曹、司法書士、税理士、専門職公務員、裁判所事務官など)に就くことを目指す人のためのコースです。六法を中心とした基本的な法律を学ぶことによって、法律専門職に必要な法学の専門知識や考え方を広く身につけ、専門家として活躍しうる人材となることを、最も重要な目標とします。

★ 2016年度以前入学生用のコース制についての説明は、履修支援サイトに掲載しています。

#### (2) コースの履修方法や注意点

法学部のコース制では、4年生が終わるまでに、それぞれのコース卒業に必要な、科目の類ごとの単位数を取得しなければなりません(「コース選択用判別シート」〔巻末に掲載〕参照)。時間の流れに沿って説明すると、

- ① 2年生の初め、科目登録時にコースを選択して登録(1つだけ選びます。My TG「コース選択希望情報保守」より、希望コースに優先順位「1」を入力してください)。
- ② さらに3年生の最初の科目登録時に、最終的に卒業したいコースを3つから1つだけ選択して登録(My TG「コース選択希望情報保守」より希望コースに優先順位「1」を入力してください)。

どのコースを選択するかを1年生のときからよく考え、計画的に履修することが重要です。各コースで卒業するために必要な条件は17頁にまとめてありますので、確認しておいてください。

### 法学部 コース別履修モデル

2019年度入学生用

◎履修すべき科目 ○履修を考慮すべき科目

分類	授業科目	政策・行政	企業法務	法律専門職	難易度
導入科目	法学部生入門	◎	◎	◎	1
	法学の基礎	◎	◎	◎	1
	政策・行政入門	◎	◎	◎	1
第1類	憲法Ⅰ	◎	◎	◎	2
	憲法Ⅱ	◎	◎	◎	2
	憲法Ⅲ	◎	◎	◎	2
	憲法Ⅳ	◎	◎	◎	2
	行政法総論Ⅰ	◎	○	◎	2
	行政法総論Ⅱ	◎	○	◎	2
	行政法各論Ⅰ	○		◎	2
	行政法各論Ⅱ	○		◎	2
	行政救済法	○		○	3
	経済法Ⅰ				2
	経済法Ⅱ				2
	租税法Ⅰ		○		2
	租税法Ⅱ				2
	環境法				2
社会保障法		○		2	

分類	授業科目	政策・行政	企業法務	法律専門職	難易度
第2類	民法総則Ⅰ	○	○	○	2
	民法総則Ⅱ	○	○	○	2
	物権法Ⅰ		○	○	2
	物権法Ⅱ		○	○	3
	債権法総論Ⅰ	○	○	○	2
	債権法総論Ⅱ		○	○	2
	債権法各論Ⅰ	○	○	○	2
	債権法各論Ⅱ		○	○	2
	家族法Ⅰ	○	○	○	1
	家族法Ⅱ		○	○	2
	会社法Ⅰ	○	○	○	2
	会社法Ⅱ		○	○	2
	会社法Ⅲ		○	○	2
	商法Ⅰ(総論)		○		2
	商法Ⅱ(証券・決済)			○	2
	商法Ⅲ(商取引・保険)			○	2
	金融法			○	2
	民事手続法入門	○		○	1
	民事訴訟法Ⅰ			○	2
	民事訴訟法Ⅱ			○	2
	民事執行法・保全法				3
	倒産法				3
	労働法Ⅰ	○		○	2
	労働法Ⅱ			○	2
知的財産法Ⅰ				2	
知的財産法Ⅱ				2	
第3類	刑法総論Ⅰ	○	○	○	2
	刑法総論Ⅱ	○	○	○	2
	刑法各論Ⅰ	○		○	2
	刑法各論Ⅱ	○		○	2
	刑事訴訟法Ⅰ	○		○	2
	刑事訴訟法Ⅱ			○	2
	刑事政策Ⅰ				2
刑事政策Ⅱ				2	
第4類	法哲学Ⅰ				2
	法哲学Ⅱ				2
	法制史Ⅰ				2
	法制史Ⅱ				2
	日本法と外国法				2
	法文化論				2
第5類	国際法Ⅰ	○	○	○	2
	国際法Ⅱ	○	○	○	2
	国際法Ⅲ				2
	国際法Ⅳ				2
	国際経済法				3
	国際私法				2
第6類	政治学Ⅰ	○			2
	政治学Ⅱ	○			2
	政治思想史Ⅰ	○			2
	政治思想史Ⅱ	○			2
	国際政治論Ⅰ	○			2
	国際政治論Ⅱ	○			2
	比較政治論Ⅰ				2
	比較政治論Ⅱ				2
	地方自治論Ⅰ	○			2
	地方自治論Ⅱ	○			2
	行政学Ⅰ	○			2
	行政学Ⅱ	○			2
平和学				2	

第7類	基礎演習Ⅰ	◎	◎	◎	1
	基礎演習Ⅱ	◎	◎	◎	1
	演習一部	◎	◎	◎	2
	演習二部	◎	○	○	3
	卒業試験				3
	コース総合演習A	○	○	○	2
	コース総合演習B	○	○	○	2
	外国書講読				2
	法曹養成実習Ⅰ				2
	法曹養成実習Ⅱ				2
法曹養成実習Ⅲ				3	
第8類	経済原論Ⅰ				2
	経済原論Ⅱ				2
	国際経済論Ⅰ				2
	国際経済論Ⅱ				2
	財政学Ⅰ				2
	財政学Ⅱ				2
	社会保障論Ⅰ				2
	社会保障論Ⅱ				2
	海外研究Ⅰ				2
	海外研究Ⅱ				2
	法学専門技能				2
コミュニケーション技能				2	
第9類	専門特殊講義				2
	◎の単位数	52	50	64	1 = 初級 2 = 中級 3 = 上級
	○の単位数	38	40	28	
	◎と○の合計単位数	90	90	92	

★ 2018年度入学生用のコース別履修モデルは、履修支援サイトに掲載しています。

## 【教養教育科目について】

### (1) 「聖書を学ぶ」、「キリスト教の歴史と思想」

必修科目です。学科・グループによって履修するクラスが指定され、My TG [履修申請 [申請状況画面] 画面] では登録済として表示されます。

#### 再履修する場合

自分の属するグループに指定されている「聖書を学ぶ」、「キリスト教の歴史と思想」を登録してください。  
(例)：2年生4グループの学生ならば、法律学科1年生4グループに指定されている「聖書を学ぶ」、「キリスト教の歴史と思想」を登録する。

### (2) 「聖書を学ぶ」及び「情報化社会の基礎」の発展クラスについて

(i) 受講対象者 ※該当する学生は必ず発展クラスを受講することになります。

・「聖書を学ぶ」(発展クラス)

2016(平成28)年度以降入学した東北学院高等学校および東北学院榴ヶ岡高等学校両高校出身のTG推薦者で、チェックテストに合格した学生

・「情報化社会の基礎」(発展クラス)

2016(平成28)年度以降入学した東北学院高等学校および2019年度以降入学した東北学院榴ヶ岡高等学校両高校出身者のTG推薦者で、チェックテストに合格した学生

(ii) 履修登録の方法

・「聖書を学ぶ」(発展クラス)

該当する学生は「登録済み」として表示されます。(前期 水・5に登録されています。)

・「情報化社会の基礎」(発展クラス)

該当する学生は「登録済み」として表示されます。(後期 水・5に登録されています。)

(iii) 注意事項

・「発展クラス」での単位修得であることは成績通知書上、表記されません。

・今年度「聖書を学ぶ」(発展クラス)、「情報化社会の基礎」(発展クラス)を修得できない場合には、次年度

**以降は発展クラスではなく、通常クラスを受講してください。**

### (3) 「キリスト教学 A、B、C、D」(3年生対象)

卒業要件を満たすにはA～Dのうち、1科目2単位を修得することが必要です。事前に抽選により受講者を決定しますので、必ず抽選へ応募してください。抽選科目ですので、My TG から登録することはできません。

抽選の詳細については、別紙「2019年度法学部3年生科目「キリスト教学」抽選登録要項」を参照してください。

**再履修の場合も抽選に応募してください。**

⇒ p.7 「9. 抽選科目について」参照

### (4) 受講者制限科目(抽選科目)について

教養教育科目の中には、受講者数を制限するため抽選を行う科目があります。履修を希望する場合は、所定の期間に My TG [抽選授業履修申請] から応募してください。⇒抽選期間は p.3 参照 ⇒抽選科目は p.7 参照

### 【地域教育科目について】

「震災と復興」、「地域の課題Ⅰ」、「地域の課題Ⅱ」及び「地域課題演習」で構成されています。2年次開講の「地域の課題Ⅰ」は必修科目です。

テーマは「地域課題版」と「地域企業版」の二つに分かれ、それぞれ開講されますが、いずれか一方を選択して履修登録をしてください。テーマの選択については、1年生の後期(1月)に実施される予備登録に応募し、3月に決定(発表)されるテーマの科目を履修登録してください。

なお、前期に開講される「地域の課題Ⅰ」の単位修得ができなかった場合には、後期修正登録期間に後期に開講される「地域の課題Ⅰ(再履修)」を履修登録することができます。

### 【外国語科目について】

#### (1) 「英語ⅠA」、「英語ⅠB」について

- (i) 「英語ⅠA」及び「英語ⅠB」は必修科目です。習熟度別にクラス分けされます。
- (ii) オリエンテーション初日の英語テストの結果によって、履修クラスが決定されます。
- (iii) 履修クラスは、各学部の掲示板と My TG のおしらせで発表します。
- (iv) この2科目の履修登録は、英語教育センターが行います。
- (v) 「登録済」の科目として表示されますので、発表されたクラスと登録されているクラスが異なる場合は、早急に英語教育センター事務室へお知らせください。必要な修正を行います。
- (vi) 指定されたクラスを履修してください。クラスの変更はできません。
- (vii) クラス(e)に配属された人は、前期に「ベーシック英語」、後期に「英語ⅠA」「英語ⅠB」を履修します。これも英語教育センターが履修登録を行います。
- (viii) 「ベーシック英語」は卒業要件単位に含まれず、履修登録上限にも含まれません。

#### **再履修する場合(2017年度以降入学生対象)**

2年生以上で、「英語ⅠA」、「英語ⅠB」(両科目またはいずれかの科目)を再履修する場合は、**月曜日5校時**の再履修者用クラス(f)を履修してください。

履修登録は英語教育センターが行うので、「履修申請[申請状況画面]画面」には登録済として表示されます。

#### **再履修する場合(2016年度以前入学生対象)**

2年生以上で、「英語ⅠA」、「英語ⅠB」(両科目またはいずれかの科目)を再履修する場合は、**月曜日5校時**の再履修者用クラス(f)を履修してください。

履修登録は教務課が行うので、「履修申請[申請状況画面]画面」には登録済として表示されます。

#### (2) 「英語ⅡA」、「英語ⅡB」について

- (i) 「英語ⅡA」及び「英語ⅡB」は必修科目です。
- (ii) 履修クラスは「英語ⅠA」「英語ⅠB」での配属クラスと成績をもとに決定されます。
- (iii) 履修クラスは、各学部の掲示板と My TG のおしらせで発表します。
- (iv) この2科目の履修登録は、英語教育センターが行います。

- (v) 発表されたクラスと登録されているクラスが異なる場合は、早急に英語教育センター事務室へお知らせください。必要な修正を行います。
- (vi) 登録されたクラスを履修してください。クラスの変更はできません。

#### **再履修する場合(2017年度以降入学生対象)**

3年生以上で、「英語ⅡA」、「英語ⅡB」(両科目またはいずれかの科目)を再履修する場合は、**木曜日1校時**の再履修者用クラス(f)を履修してください。

履修登録は英語教育センターが行うので、「履修申請[申請状況画面]画面」には登録済として表示されます。

#### **再履修する場合(2016年度以前入学生対象)**

4年生以上で、「英語ⅡA」、「英語ⅡB」(両科目またはいずれかの科目)を再履修する場合は、**月曜日1校時**の再履修者用クラス「英語ⅡA(会話)」「英語ⅡA(会話)」を履修してください。

履修登録は教務課が行うので、「履修申請[申請状況画面]画面」には登録済として表示されます。

### **(3) 第二外国語について**

「ドイツ語ⅠA、ⅠB」、「フランス語ⅠA、ⅠB」、「中国語ⅠA、ⅠB」、「韓国・朝鮮語ⅠA、ⅠB」は週2回開講科目です。なお、ⅠAとⅠBは特段の事情がない限り同一の言語科目を登録して下さい。ⅠBの授業はⅠAを履修したことを前提に行われます。

### **(4) 「外国語コミュニケーションⅠ」、「外国語コミュニケーションⅡ」について**

この科目は、教員免許状を取得するためには必修の科目です。教養学部の1年生と一緒に履修します。

まず、3つの時間帯(**火曜日3校時**、**火曜日4校時**、**木曜日3校時**)から1つ選びます。ⅠとⅡ(前期と後期)で異なる時間帯を選ぶことはできません。どの時間帯も、習熟度に応じて3クラスに分かれます。

4月5日までに、希望する時間帯を英語教育センター事務室に申し出てください。どのクラスを履修登録すべきか指示がありますので、指示されたクラスを自分で登録し履修してください。

### **【保健体育科目について】(2年生対象)**

「体育講義」と「スポーツ実技」があります。「スポーツ実技」の受講を希望する学生は、別紙『保健体育科目について』に従って応募し、決定した種目の科目登録をしてください。

なお、教育職員免許状の資格を得ようとする学生は、「スポーツ実技」(2単位)を修得しなければなりません。

### **【専門教育科目について】**

#### **(1) 「基礎演習Ⅰ」(1年次開講)**

(i) 「基礎演習Ⅰ」は、1年次後期に開講される演習科目(2単位)です。この科目は、6月に実施される予備登録をしなければ、その科目登録をすることができません。なお、科目登録期間にこの科目を登録することはできません。

(ii) 「基礎演習Ⅰ」は19クラス開講されます。この科目を受講したい学生は、科目登録時に、次の2つに注意してください。①希望するクラスが開講される曜日・校時に他の科目を登録しないこと。登録された科目を取り消して「基礎演習Ⅰ」を受講することはできません。②履修上限単位数には「基礎演習Ⅰ」の2単位分も含まれるので、科目登録時には2単位分の余裕を残すこと、すなわち、除外科目(外国語科目第3類、教育職員免許状の教科に関する科目、教職等に関する科目)を除き、38単位以下にとどめるようにしてください。

(iii) 「基礎演習Ⅰ」の予備登録は、次の手順で行われます。

- 1) 5月中旬 登録スケジュール発表(学部掲示板・My TGから配信)
- 2) 6月上旬 第1次予備登録 予備登録用紙提出(学務係)
- 3) 6月下旬 第1次予備登録決定者発表(学部掲示板)、第2次予備登録(1次予備登録で採用されなかった学生対象)(学務係)
- 4) 7月上旬 第2次予備登録決定者発表(学部掲示板)



**(2) 「基礎演習Ⅱ」(2年次開講)、「演習一部」「外国書講読」「コース総合演習A・B」(いずれも3年次開講)  
「演習二部」(4年次開講)**

2019年度に開講される科目にかかわる予備登録は昨年11月に実施済みです。予備登録に応募しなかった学生が、これらの演習科目の受講を希望する場合は、第三次募集に応募してください。

**【詳細は掲示および My TG 配信でお知らせします】**

**(3) 導入科目**

「法学の基礎」、「法学部生入門」および「政策・行政入門」は1年次に開講される「導入科目」です。この3つの科目のうちいずれか2つの科目が選択必修となっています。しかし、法学部では特別のことがない限り3科目すべて履修することが期待されています。

**【再履修する場合(2017年度以降入学生対象)】**

再履修する場合は、自分の属するグループに指定されている科目を登録してください。(例:2年生4グループの学生ならば、法律学科1年生の4グループに指定されている「法学の基礎」、「法学部生入門」および「政策・行政入門」を登録する。)

**【再履修する場合(2016年度以前入学生対象)】**

「法学の基礎」、「大学生生活入門」および「法的思考入門」の3科目のうち2科目は選択必修です。再履修する場合は、自分の属するグループに指定されている科目を登録してください。(例:2年生4グループの学生ならば、法律学科1年生4グループに指定されている「法学の基礎」、「(旧)大学生生活入門」を登録してください。)

「(旧)法的思考入門」は **土樋キャンパス水曜日3校時** を登録してください。(グループ指定はありません)

**(4) 「海外研究Ⅰ・Ⅱ」**

「海外研究Ⅰ・Ⅱ」は2年生開講科目ですが、前年度実施の留学選考試験に合格した学生のみ、登録することができます。来年度「海外研究Ⅰ・Ⅱ」の履修を希望する学生は、本年度中に行われる留学選考試験に合格しなければなりません。留学参加費は自己負担となります。(詳細は国際交流課まで)

**(5) 「法曹養成実習Ⅰ」、「法曹養成実習Ⅱ」、「法曹養成実習Ⅲ」**

将来、法曹(裁判官、検察官、弁護士)になるために、法科大学院へ進学することを考えている学生は、「法曹養成実習Ⅰ」(1年次開講)、「法曹養成実習Ⅱ」(2年次開講)、「法曹養成実習Ⅲ」(3年次開講)を履修登録するようにしましょう。

**(6) 「演習二部」、「卒業試験」(いずれも4年次開講)(2017年度以降入学生対象)**

「演習二部」と「卒業試験」を選択必修としています。「演習二部」または「卒業試験」のいずれかの科目の単位を修得しないと、法学部を卒業することはできません。「演習二部」は3年生の11月に予備登録を実施しますので履修希望者は必ず応募してください。

「卒業試験」は、法学部独自に実施する卒業試験です。一定程度以上の成績を修めないと、「卒業試験」の単位を修得することができません。4年生になりましたら、「卒業試験」も履修登録するようにしましょう。なお、履修上限単位数には卒業試験の2単位も含まれます。

**(7) 週2回開講科目**

今年度、週2回開講される専門科目はありません。

## 14. 法学部のカリキュラムについて知っておくためのQ&A

これから法学部のカリキュラムについて、新入生Q君とA教授の会話という形で説明します。みなさんが勉強計画を立てるうえで、基本的なこと、非常に重要なことばかりなので、2～4年生の人達もよく読んで下さい。  
※入学年度により、法学部卒業要件、コース別卒業要件、履修上限単位数等は異なります。2年生以上（2018年度以前入学生）は履修支援サイトに掲載される各要件表等で詳細を確認してください。

**大学は、単位制度になっています。**

Q：よく耳にする言葉ですが「単位」って何ですか？

A：ある科目を履修して合格したときもらえるポイントみたいなものだと思います。例えば、ある科目が2単位の科目だということは、その科目に合格すると2ポイント＝単位をもらえるということです。

Q：合格するためには、どうすればいいのですか？

A：100点満点で60点以上の点数をもらえればいいのです。何を評価の対象とするか、試験なのかレポートなのか、両方なのか、出席状況は考慮するのかしないのか、また、どのくらいの厳しさで評価するかは各先生によって異なり、おおまかな様子は大学要覧の各科目の内容紹介の「成績評価方法・基準」の部分に書かれているとおりです。とにかく最終の評価で60点以上を取れば合格です。

Q：じゃあ、59点以下は59点でも0点でも1単位ももらえないわけですね？

A：そうです。逆に60点以上であれば、60点でも100点でも2単位科目なら同じ2単位がもらえるわけです。

Q：一回不合格になった科目は、もう二度と受けられないのですか？

A：そんなことはありません。2013年度入学生からは、後期科目の修正登録が可能になりましたので、後期にも同一科目が開講されていれば、再履修といって、再びチャレンジできます。また、次の年次に再びチャレンジすることもできます。ついでに言うておきますと、1年次に配当された科目を1年のとき履修しないで2年になってから履修することもできます。

Q：科目ごとにももらえる単位が違うみたいですが、それはどうしてですか？

A：法学部の科目をみると、1単位、2単位、4単位と3種類あります。それは、授業時間数が違うからなのです。1週間に1回の授業(90分です)を半年行う科目が2単位の科目です。週1回の授業が1年続く科目は4単位、週2回の授業を半年行う科目も4単位です。6単位の科目は、半年間は週2回、後の半年間は週1回の授業という、やや変則的な科目です。

Q：全部の科目の単位がそうした数え方で統一されているのですか？

A：いや、例外もあります。法学部の科目のなかでは、外国語科目の「英語ⅠA」、「英語ⅠB」、「英語ⅡA」、「英語ⅡB」は週1回の授業で各1単位、保健体育科目の「スポーツ実技」は週1回の授業を通年学んで2単位です。また「ドイツ語ⅠA」、「ドイツ語ⅠB」、「フランス語ⅠA」、「フランス語ⅠB」、「中国語ⅠA」、「中国語ⅠB」、「韓国・朝鮮語ⅠA」及び「韓国・朝鮮語ⅠB」は週2回・半期で2単位です。

**まず、カリキュラムの全体像をつかもう。**

Q：法学部では、卒業に必要な単位は124単位でしたね？

A：そうです。ですから単純に計算すれば、毎年32単位ずつ取っていけばよいことになります。半期・週1回の授業をする2単位科目で換算すると16科目です。

Q：でも、そう単純ではないんでしょう？

A：そうなんです。合計では124単位以上を修得すればよいのですが、コース制と関連してカリキュラムはもっと細かく分かれていて、この科目の単位は必ず取らなければならないとか、ここの部分からは最低何単位取らなければならないとか、いろいろ制約があるのです。

また、各学年で登録できる科目の単位数には制限があります。2019年度入学生は今年度は40単位までです。2017～2018年度入学生の場合、1～3年生は原則44単位、4年生は原則48単位までです。

Q：では、まず法学部のカリキュラムの全体像を教えてください。

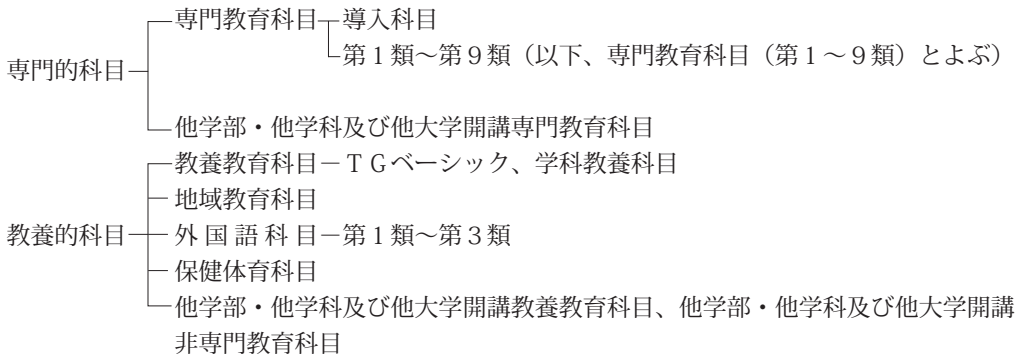
A：カリキュラム全体を大別すれば、まず法学部の学生として専門的知識を得るための部分と、現在の社会に生きる人間としてあるいは市民として必要な知識・教養を得るための部分があります。

Q：専門科目と教養科目ですね？

A：専門「的」科目と教養「的」科目と言った方がいいかもしれません。そして、それぞれがまたいくつかのグループに分かれます。専門的科目を構成するのは「導入科目」、「第1類から第9類に属する専門教育科目」と「他学部・他学科学科及び他大学開講専門教育科目」の3つです。それに対して、教養的科目は「教養教育科目」、「地域教育科目」、「外

国語科目」、「保健体育科目」と「他学部・他学科及び他大学開講教養教育科目、非専門教育科目」の5つからなっています。そのほかに「外国人留学生科目」というのがありますが、留学生以外の学生には関係がありません。そして、それぞれは、さらにいくつかの「類」に分かれています。たとえば、教養教育科目はT Gベーシックと学科教養科目に分かれています。

下にまとめておきましょう。



「他学部・他大学開講」の科目というのは、本学の他学部が開講されている科目あるいは他大学開講の科目が一定の条件で法律学科の単位として認められることをいいます。詳しくは、〔他学部・他学科開講科目の履修について〕と〔単位互換の協定を締結している他大学開講科目の履修について〕をよく読んで下さい(23～24頁)。

#### 専門の勉強に導くために導入科目がある。

Q：複雑なんですね。では、専門教育科目の方からもう少し詳しく教えてください。

A：上にあげた分類を使えば専門教育科目は、「導入科目」と第1類から第9類より構成される「専門教育科目」に分かれますが、導入科目の方は3科目しかありません。しかも、全部1年の前期・後期の2単位科目です。これに対して専門教育科目(第1～9類)は約96科目、ほとんど2単位科目で、学年的には2年から4年が中心です。1年の専門教育科目(第1～9類)は「憲法Ⅰ、Ⅱ」(第1類)、「民法総則Ⅰ」(第2類)、「家族法Ⅰ」(第2類)、「基礎演習Ⅰ」(第7類)と「法曹養成実習Ⅰ」(第7類)の5科目だけです。

Q：導入科目というからには、専門を勉強するための準備をする科目なんだろうけど、これは必ず取らなければならないんですか？

A：さっきも言ったように、導入科目は3つの2単位科目、「法学部生入門」「法学の基礎」「政策・行政入門」からなっています。これらの科目は、法とか法律についてほとんど何の知識もなく法学部に入ってきた新生に、専門教育科目(第1～9類)への橋渡しをしようという趣旨で設けられたもので、学部としても重視しています。3科目のうち2科目、つまり4単位を修得しないと卒業できません。

Q：導入科目3科目のうち、卒業に必要なとなるのは4単位ですが、3科目とも履修しなければならないのですか？

A：卒業するために必ず修得しなければならないのは2科目4単位ですが、専門導入科目は法学を本格的に学ぶために必要となる基本的知識や能力を身に付けるために非常に重要な科目なので、よほどの事情がない限り3科目とも履修してもらいたいというのが、こちらの希望です。なお、専門導入科目の3科目すべての単位が認められた場合、6単位すべてが卒業所要単位として数えられます。つまり、専門導入科目の単位のうち、卒業するために必ず修得しなければならないのは2科目4単位分だけですが、3科目すべて単位が認められれば、2単位分は「卒業に必要な残り単位数」に数えられるのです。

#### 専門教育科目(第1～9類)の履修の仕方はちょっと複雑です。

Q：わかりました。つぎに専門教育科目(第1～9類)の方からは何単位必要なんですか？

A：76単位です。もっとも、いくつかの条件があります。それを1年の今の段階で完全に覚える必要はありません。

Q：最低限覚えておいた方がいいことは？

A：第1類から第9類まであって、各類から最低何単位を修得しなければならないのかは、コースによって異なっていること。それと経済関係の科目からなる第8類からは、最大12単位までしか卒業所要単位として認めないことかな。

Q：各類の最低必要単位はどうなっているのですか？

A：コースによってちがいます。次の表をみてください。

### コース別卒業要件（2019年度入学生）

	政策・行政	企業法務	法律専門職
導入科目	4	4	4
第1類	8	4	8
第2類	10	18	16
第3類	4	2	8
第4類		6	
第5類			
第6類	8		
第7類	2	2	2
小計	36	36	38
残り単位数	40	40	38

※1 専門教育科目 第8類からは12単位まで算入を認める。また、他学部・他大学開講専門教育科目については20単位まで算入を認める。

※2 導入科目から6単位を取得した場合には、2単位を残り単位数に参入する。

※3 「演習二部」「卒業試験」から選択必修。早期卒業には適用しない。

Q：必修科目はないんですか？

A：法学部の専門教育科目には必修科目は1科目もありません。たしかに非常に大切な科目はある、しかし必修にはしない、という考え方なんです。

Q：「ゼミ」も必修じゃないんですか？

A：「演習」（「ゼミナール」略して「ゼミ」ともいいます）のことですね。演習科目は第7類に入っていますが、必修ではありません。ただし、2017年度入学生からは、「演習二部」と「卒業試験」は選択必修ですので、いずれかの科目の単位を修得しないと卒業できません。

Q：わかりました。でも、専門教育科目（第1～9類）は2年になってから本格化するわけですから、あまり今のうちから神経質になっても仕方がないですね？

A：その通りです。でも、1年次に配当されている5つの科目、つまり、「憲法Ⅰ」、「憲法Ⅱ」、「民法総則Ⅰ」、「家族法Ⅰ」、「基礎演習Ⅰ」（後期に週1回の演習で2単位）は、よほどの事情がないかぎり履修すべき科目です。法学部でどんな勉強をしようとする人にとっても、5科目とも非常に大事な科目ですから。

Q：そうします。ところで、2年生の専門教育科目（第1～9類）は何科目あるんですか？

A：「海外研究Ⅰ、Ⅱ」という特殊な科目を除いて17科目あります。1年生の5科目と合わせて22科目、総単位数は44単位です。3年までにこのうち16～18科目の単位、30単位以上取ってれば3年以降かなり余裕のある2年間が送れるはずですよ。

**教養教育科目は、キリスト教関係科目（「聖書を学ぶ」、「キリスト教の歴史と思想」、「キリスト教学A（キリスト教と倫理）」、「キリスト教学B（キリスト教と宗教）」、「キリスト教学C（キリスト教と文化）」、「キリスト教学D（キリスト教と現代社会）」）が必修及び選択必修、あとはアラカルト**

Q：つぎに、専門以外の分野について教えてください。

A：専門以外の科目としては、「教養教育科目」「地域教育科目」「外国語科目」「保健体育科目」の4つの分野があります。

Q：教養教育科目には、多くの科目が並んでいたように記憶しているのですが？

A：38科目あります。しかも、全部半期完結の2単位科目です。たくさんのメニューのなかから、アラカルト方式で皆さんにいろいろ取ってもらおうという趣旨なんです。

Q：でも、キリスト教関係科目は必修ですよ？

A：ええ。人間的基礎の「聖書を学ぶ」、「キリスト教の歴史と思想」はそれぞれ1年次配当の必修科目ですし、3年次配当の「キリスト教学A、B、C、D」4科目の中から1科目2単位が選択必修、さらにこの4科目からの卒業要件単位に算入できるのは2科目4単位です。もちろん、落とすと大変ですから、最低でも「キリスト教学A、B、C、D」からの2単位は3年次に科目登録して履修することが極めて望ましいでしょう。

Q：「聖書を学ぶ」、「キリスト教の歴史と思想」は1年生の科目でしたよね。いきなり、絶対落とせない科目があるわけですね。

A：1年で落としても2年で再履修して合格すればいいんですから、「1年で絶対落とせない」というわけではないんです。でも、この2科目4単位は卒業に必要な単位ですから、1・2年生の間には取らなければなりません。万が一1年生で「聖書を学ぶ」を落としても、2年生で「聖書を学ぶ」を再履修して修得すればよいのです。

Q：必修はこれだけですか？

A：教養教育科目についてはこれだけです。あとは卒業までに人間的基礎から10単位以上、知的基礎から8単位

以上、T G ベーシック～学科教養科目と他学部・他学科及び他大学開講教養教育科目から16単位以上という制約はありますが、かなり自由に選択できます(2019年度入学生の場合)。

Q: 3年生科目の「社会情勢論」とはなんですか、教えてください。

A: 「社会情勢論」は、法学部が独自に開講している科目です。時事問題をわかりやすく解説し、就職対策に大きな効果があります。

#### どんな教養教育科目をどのくらい選択した方がよいのか?

Q: なるほど。でも、教養教育って本当に必要なんですか? 1年からもっと専門教育をやってもいいような気がしますけれど…

A: 実際勉強してみるとわかりますが、法律学というのは法律に関する知識をただ覚えればよいというものではありません。世の中についての幅広い視野や基本的知識をもたないと、ちゃんと法律学は理解できないんです。では、皆さんが、それだけの基礎的教養をもって大学に入ってきているかといえば、失礼ながらそうではない。やはり、大学に入ってから、少し「教養」をつけてもらわないと困るんです。

Q: それにしても、どれを選んだらよいのか見当もつきませんが…

A: 講義の内容については、『大学要覧』の中で科目の紹介をしております。テーマ、講義内容、達成目標、成績評価の方法・基準等を参考に選ぶとよいでしょう。

Q: でも、これは履修しておいた方がよいという科目はないんですか?

A: そうですね。教養教育科目のなかで法学部の先生が担当する科目が「読解・作文の技法」、「現代の政治」、「日本国憲法」(1年)、「研究発表の技法」(2年)と「社会情勢論」(3年)です。この5つは専門教育科目を補完する役割をもっていますので、履修した方がよいでしょう。それから、「日本国憲法」は教員になるためには必修科目となっています。

Q: 教員になるための必修科目は「日本国憲法」だけですか?

A: 「情報リテラシー」(1年)もそうです。後で話す「保健体育科目」にも必修があります。そのほかに、法学部の卒業所要単位には参入されないけれども、教育職員免許状取得には必修となっている「教育基礎論」、「教育の制度と経営」、「現代教職論」という科目も1年次にあります。「外国語コミュニケーションⅠ」「外国語コミュニケーションⅡ」(2年)という科目も必修です。教育職員免許状取得については、別に説明会がありますので、そこで話を聞いてください。

Q: わかりました。それから、教養教育科目はどのくらい履修すればいいんでしょうか?

A: 人によってかなり違うと思います。平均的には前期、後期とも10～11科目、合計20～22科目くらいでしょうか。

#### 地域教育科目の「地域の課題Ⅰ」は必修。

Q: 地域教育科目についてお願いします。

A: 東北学院大学は、「地(知)の拠点整備事業」として、地域共生教育による持続的な「ひと」づくり「まち」づくり事業を行っています。そして、地域課題を解決し地域とともに生きる人材を養成するために、「地域教育科目」を設置し、「地域の課題Ⅰ」を全学的に必修科目としています。

#### 外国語は、やる気さえあれば、科目は多い。

Q: 次に外国語についてお願いします。

A: 外国語科目としては、英語があるのは当然ですが、英語以外の外国語(普通「第二外国語」とよんでいます)も学べます。本学部では、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語の4つを学ぶことができます。

Q: すべての外国語科目が必修科目なのですか?

A: いいえ。2017年度入学生より、英語は第1類の「英語ⅠA、ⅠB」(1年生科目)および「英語ⅡA、ⅡB」(2年生科目)が、必修科目です。英語ⅠA、ⅠB、ⅡAおよびⅡBは、レベル別のクラス分けとなっています。第二外国語は、外国語科目第2類として、週2回の授業で2単位の科目があります。

Q: 第二外国語は、後期からは授業はないんですか?

A: あります。「\*\*語ⅠB」という科目で、1年の後期に週2回の授業で行う2単位の科目です。新しく学ぶ外国語をある程度修得するには半期の勉強では全く足りません。特別の事情がない限り、前期で履修したのと同じ言語の「\*\*語ⅠB」も履修すべきです。

Q：2年生以降になると外国語はどうなるんですか？

A：2019年度入学生は、「英語Ⅱ A、Ⅱ B」が必修科目となっています。第二外国語についても、1年後期の「\*\*語Ⅰ B」を履修した人は、2年に「ドイツ語Ⅱ」、「フランス語Ⅱ」、「中国語Ⅱ」、「韓国・朝鮮語Ⅱ」があり勉強が続けられます。もちろん、途中で止めてもかまいません。

#### なぜ1年生に必修や選択必修科目が多いのか。

Q：わかりました。それにしても、1年生には必修科目や選択必修科目が多いんですね？

A：そうです。でも皆さんにとっても、その方がいいはずなんです。というのは、もしそうした大事な科目が1年で不合格になったとしても、同じ泉キャンパスにいる2年生のときに再履修できるからです。

Q：なるほど。2年で落とした科目を3年で再履修しようとする、土樋キャンパスから泉キャンパスに通わなければならないんですね？ということは、専門科目でも2年次配当科目を落として3年次で取ろうとすると、キャンパス間の移動で大変なんですか？

A：そうですね。3年生になって泉キャンパスで開講されている科目を履修するには、キャンパス間の移動時間を確保するため、その科目の前後1校時分は科目登録できないので、土樋キャンパスの科目の履修が大きく制約されることとなります。ですから、1・2年次配当の科目はしっかり勉強してください。

#### 保健体育は取りたい人が取る。

Q：わかりました。つぎに保健体育科目ですが、これは必修なんですか？

A：いいえ。保健体育科目には、「体育講義」という講義科目と「スポーツ実技」という実技科目がありますが、どちらも必修ではありません。ただし、教育職員免許状を取るためには「スポーツ実技」は必修です。

Q：取った単位は卒業所要単位に含まれるんですね？

A：もちろんです。

Q：「体育講義」も「スポーツ実技」も2単位科目ですから、体育の得意な人は4単位をここで取れますね。

A：その通りです。

#### 卒業に必要な単位を知っておこう

##### 法学部卒業要件 〔2019年度入学生〕

科目分類		単位数		
教養教育科目	TG ベーシック	人間的基礎	10	必修6単位を含む
		知的基礎	8	
	TG ベーシック～学科教養科目 他学部・他大学開講教養教育科目	16		
地域教育科目		2	必修	
外国語科目 第1類		4	必修	
教養教育科目 学科教養科目、地域教育科目 外国語科目 第2類、保健体育科目 他学部・他大学開講非専門教育科目		8		
専門教育科目 導入科目		4	選択必修	
専門教育科目 導入科目、第1類～第9類 他学部・他大学開講専門教育科目		72	「演習二部」・「卒業試験」 から選択必修	
合計		124		

A：上の表は、卒業に必要な単位をまとめたものです。順序は、今までの話と少し変えてありますが、わかりますね？

Q：法学部卒業要件の表上から6つ目の8単位分は、教養教育科目だけから取っても外国語科目だけから取ってもいいんですね？

A：もちろんです。もともとこの8単位分は、あなた方にいちばん頑張れるところで単位を取ってくださいという趣旨なんです。地域課題に関心があれば地域教育科目で、外国語をやりたければ外国語科目第2類で、体育が得意な人は保健体育科目で頑張ればいいんです。

Q：科目登録の際に、注意すべきことはありますか？

A：余裕をもって科目登録すべきです。いわゆる「保険をかける」ということも必要です。例えば、一科目でも修得できなかったら卒業要件を満たさなくなるというような科目登録の仕方をしてはいけません。信じられないかもしれませんが、前期の成績発表の時点で留年が確定してしまった4年生がいます。科目登録は前期開講科目や通年開講科目だけでなく後期開講科目まで一括して、3月末から4月初旬の科目登録期間に行われます。2013年度入

学生からは、後期修正登録期間に履修科目を変更・追加することができるようになりましたが、2012年度以前入学生は、従来どおり、後期になってから科目登録を変更・追加することはできないので、4年生で前期試験の結果、単位不足になってしまうと、その時点で留年が確定してしまうことがあるのです。

また、3年次終了までに78単位を修得していないと、就職活動に必要な「卒業見込証明書」を発行してもらえないというのが原則です(2019年度入学生の場合)。このことにも注意して科目登録をする必要があるでしょう。

#### **最後に、1年で履修しなければならない科目を整理すると……**

Q：わかりました。最後に、1年生で履修しなければならない科目や履修した方がよい科目について、もう一度まとめていただけないでしょうか？

A：これも表にしておきましょう。ただし、前にも言いましたが教養教育科目については、卒業要件を考えながら自分で自由に選択するのが原則です。

Q：1年生で卒業に必要な教養教育科目の単位を全部取ってしまってもいいですか？

A：取りたい人は取ってもいいですが、無理することはないですよ。

Q：ところで、受講する授業は1週あたり全部でどのくらいがいいんでしょうか？

A：2019年度の入学生は上限の40単位分を受講することになると、2単位科目に換算すると1週間に10科目ですね。ただし、外国語科目は通年で2単位ですから、それらを考えると1週あたり10～12科目が上限ということになります。1年生のときは、大学での勉学に慣れるために、この上限に達するくらいの科目数の登録をしておくべきでしょう(当然のことですが、40単位分を超えて科目登録をすることはできません)。ただし、年度始めの科目登録時に上限の40単位分の科目登録をしてしまうと、後期に開講される「基礎演習Ⅰ」の登録ができなくなってしまいますので、1年生が年度始めに科目登録するときには38単位までにとどめるべきでしょう。

Q：ということは、教育職員免許状の取得をめざさなければ、後期に第二外国語の「\*\*IB」を履修したとしても、前・後期ともキリスト教関係科目や教養教育科目を5～6科目履修できるということですね？

A：ともかく、履修科目が多いことと「やる気がある」ことを混同しないことです。

Q：わかりました。今日はいろいろと教えていただいて参考になりました。実は、カリキュラムの仕組みのほかにも卒業後の進路との関係で、法学部でどんな勉強をすればよいかについてもお聞きしたいことがあったのですが、また今度にします。

A：そういうことについては、『大学要覧』の中に「法学部での学習のヒント」という文章がありますので、それを参考にしてください。それでは、がんばって勉強してください。

## 〈1〉1年生の履修科目についての注意点

### 1. 学年次履修登録制度について

1年間の履修登録に制限があり、1年生～3年生は40単位、4年生では46単位までしか履修登録ができません。ただし、1・2年次のGPAが3.0以上の場合は、次年度に44単位まで履修登録できます。年間の修得単位が少ない学年がある場合は、4年間での卒業が困難になる場合があります。

### 2. 後期科目の履修登録の修正・追加について

⇒ p.4「6. 科目履修登録の後期修正登録について」参照

### 3. 2019度開講科目について

注 意 点	科 目 名	単 位	1 週 の 授 業 回 数	
			前 期	後 期
必修科目	聖書を学ぶ キリスト教の歴史と思想	2 2	1	1
	英語 I A	1	1	
	英語 I B	1		1
2科目を必ず選択だが、3科目履修が望ましい	法学部生入門	2	1	
	法学の基礎	2	1	
	政策・行政入門	2		1
原則として履修すべき専門教育科目	憲法 I	2		1
	憲法 II	2		1
	民法総則 I	2		1
	家族法 I	2	1	
	基礎演習 I	2		1
第二外国語の勉強をするためには履修が必要	ドイツ語 I A	2	2	
	フランス語 I A	2	2	
	中国語 I A	2	2	
	韓国・朝鮮語 I A	2	2	
	ドイツ語 I B	2		2
	フランス語 I B	2		2
	中国語 I B	2		2
韓国・朝鮮語 I B	2		2	
専門の補完となる教養教育科目	読解・作文の技法	2	1	
	現代の政治	2		1
	日本国憲法	2	1	
教育職員免許状の取得に必修の科目	教育基礎論	2	1	
	教育の制度と経営	2		1
	現代教職論	2	1	
	情報リテラシー	2	1	1
	日本国憲法	2	1	
その他、卒業要件に応じて教養教育科目を選択				

※「教育基礎論」「教育の制度と経営」「現代教職論」は、法学部の卒業所要単位には含まれません。



## 〈2〉2年生の履修科目についての注意点

### 1. 必修科目・選択必修科目について

- (1) 「聖書を学ぶ」、「キリスト教の歴史と思想」の単位を修得できなかった場合

⇒p.12 「聖書を学ぶ」、「キリスト教の歴史」を再履修する場合 参照。

- (2) 「英語ⅡA」、「英語ⅡB」の履修

「英語ⅡA」、「英語ⅡB」は必修科目です。My TG〔履修申請画面〕に受講登録済み科目として表示されているか、確認してください。

- (3) 「地域の課題Ⅰ」の履修

「地域の課題Ⅰ」は必修科目です。1年生後期(1月)に実施した予備登録の決定内容に従って登録してください。

⇒p. 13【地域教育科目について】参照

- (4) 専門導入科目を2単位(1科目)しか修得できなかった場合

導入科目3科目のうち4単位分(2科目)を修得しなければ、卒業できません。1年次に修得できなかった科目は、特段の事業がない限り、泉キャンパスにいる2年生のときに再履修しておくべきです。

### 2. そのほかの科目について

- (1) 「基礎演習Ⅱ」

My TG〔履修申請画面〕において、昨年度の予備登録で決定した通りに登録済み科目として表示されているか、確認してください。

- (2) 2年次からは法学部の専門教育科目が増えます。自分の選択するコースを考え、『大学要覧』を参照して、科目を選択して登録してください。

- (3) 1年次配当の専門教育科目である「憲法Ⅰ」、「憲法Ⅱ」、「民法総則Ⅰ」および「家族法Ⅰ」は2年次以降の専門教育科目を履修するうえで非常に大事な科目です。1年次に修得できなかった科目は、泉キャンパスにいる2年生のときにすべて再履修しておくべきです。

- (4) 教育職員免許状を取得しようとする場合に必要となる科目

2年次からは「教職等に関する科目」「教科に関する科目」とともに履修すべき科目が増えます。また、「スポーツ実技」、「外国語コミュニケーションⅠ」、「外国語コミュニケーションⅡ」の単位を修得しなければならないので、これらの科目も登録してください。

1年次に「教育原理」、「現代教職論」、「情報リテラシー」、「日本国憲法」の単位を修得できなかった場合、必ず再履修してください。なお、「情報リテラシー」の履修・再履修を希望する者は、学務係窓口または教務課窓口申し出てください。

## 〈3〉3年生の履修科目についての注意点

### 1. 必修科目及び選択必修科目について

- (1) 「英語ⅡA」、「英語ⅡB」の単位を修得できなかった場合

再履修者用クラスが開講されます。再履修が必要な学生の「履修申請〔申請状況画面〕画面」には登録済として表示されますので確認してください。

⇒p.13 (4)「英語ⅡA」、「英語ⅡB」を再履修する場合 参照

- (2) 「キリスト教学A、B、C、D」について

事前の抽選により受講者を決定しますので、必ず抽選に応募してください。

⇒p.7 「9. 抽選科目について」、p.13 (3)「キリスト教学A、B、C、D」参照

※教養教育科目に不足単位がある場合等、1科目以上の登録を希望する場合は、教務課法学部窓口申し出てください。

※金曜日1校時、前期および後期に開講されますが、他の科目を履修登録する場合には教務課法学部窓口にご相談下さい。

※決定者発表に従い、4月12日(金)の第1回目の授業に参加してください。

## 〈4〉4年生に対する注意事項

### ☆4年次の科目登録は卒業要件を満たすように科目登録をすること

毎年、卒業要件を満たさない科目登録をする学生が少なからずいます。3年生までの成績通知書および巻末の『コース選択用判別シート』を参照しながら、卒業要件を満たすように科目登録をしてください。

### ☆履修登録科目の放棄は十分確認のうえ、慎重に行うこと

卒業要件を満たす科目登録をしたものの、前期試験の時点で誤った判断により試験を放棄してしまい、後期開始前に卒業できなくなる学生も少なからずいます。登録した科目について前期試験を放棄する場合には、十分に注意をしてください。

### ☆3年次終了時で卒業所要単位を修得している場合でも【My TG】にログインし、必ずコース登録をしてください。

### ☆卒業時学業成績優秀学生の選出基準

放棄科目(///)及び60点未満の科目を含め、履修登録した科目の評価の平均点を算出します。

### ☆9月期卒業について

留年した学生で9月期卒業を希望する学生は、**4月13日(土)**までに教務課へ申し出て指導を受けてください。詳細は大学要覧の「東北学院大学9月期卒業規程」を参照してください。

科目登録に際して次のことに留意してください。

- ① 前期開講前期完結科目（前期で終了する集中講義を含む）を科目登録し、不足単位を修得して卒業要件を満たす必要があります。
- ② 9月期卒業を希望する場合であっても、9月に卒業要件を満たすことができない場合を想定して、前期開講科目・後期開講科目を含めて、年度始めの科目登録時に科目登録をしてください。
- ③ 9月期卒業希望者は、文書にて期日まで(6月末)に届け出なければなりません。  
(当該時期の掲示板参照のこと)
- ④ 9月期卒業の再試験は実施しません。

### ☆留年通知について

4年生で留年が確定した学生本人には、卒業生発表時(2月及び3月)に成績通知書の配付により留年を通知します。保証人にも「留年通知」を「履修成績通知書」を同封の上、送付します。

## 15. 他学部・他学科開講科目履修について

他学部・他学科開講科目履修とは、本人の所属する学部・学科の学科課程（カリキュラム表）にない科目を、他学部・他学科提供科目の中から履修することです。

演習（ゼミナール）については、本人の所属する学部・学科の学科課程表（カリキュラム表）にあっても、他学部・他学科が履修を認めていれば履修できます。

修得した単位は、所属学部・学科の卒業要件により、卒業所要単位として認定されます。

### 履修上の注意

- (1) 「他学部・他学科提供科目一覧」、「授業時間割」等は学務係窓口・教務課窓口で閲覧してください。
- (2) 在学年次より上級の年次に配当されている他学部・他学科提供科目を履修することはできません。
- (3) 科目名称が同じ場合は、単位数が異なっても履修できません。
- (4) 登録時には My TG の履修申請画面の「他学科専門科目」から選択してください。  
(Web 履修操作マニュアル参照のこと)
- (5) 成績通知書、履修成績通知書等には、他学部・他学科修得科目として科目名および評価が表記されます。
- (6) グループ指定のある他学部・他学科提供科目を履修する場合には、学務係窓口・教務課窓口に申し出てください。

### 【各学科共通注意事項】

- (1) 対象科目が変更される場合
  - ① 「他学部・他学科提供科目一覧」に掲載されている科目であっても、以下のような場合には他学部・他学科学生の履修は認められません。
    - ・その科目が集中講義の形態で開講されるとき（法学部科目を除く）
    - ・その科目が講師急病などのため開講されないとき
    - ・その科目が学科課程から削除された場合
  - ② 現在リストにない科目であっても、集中講義でなくなった場合には、他学部・他学科学生の履修を認める場合があります。
- (2) 科目の開講時期が変更される場合
  - ① 科目担当者の都合により、前期開講が後期開講となるなど、開講形態が変更される場合があります。
  - ② 教養教育科目は、年度によって開講時期が変わることがあります。

## 16. 単位互換の協定を締結している他大学開講科目の履修について

単位互換の協定を締結している他大学開講科目とは、意欲ある学生に対し多様な学習機会を提供することを目的として、大学同士がそれぞれ独自の授業科目を提供し単位互換を行い、所属大学の卒業所要単位として認める科目です。

所属キャンパス以外での受講となるので、登録の際には、移動時間が最低1時間は必要となります。詳細については掲示でお知らせします。

※ 2019年度に他大学へ科目を提供する予定の大学は次のとおりです。

石巻専修大学 仙台白百合女子大学（女子のみ） 仙台大学 東北芸術工科大学 東北工業大学  
 東北生活文化大学 東北大学 東北福祉大学 東北医科薬科大学 東北文化学園大学  
 放送大学宮城学習センター 宮城学院女子大学（女子のみ） 宮城教育大学 宮城誠真短期大学  
 宮城大学 尚絅学院大学 聖和学園短期大学（女子のみ） 東北生活文化大学短期大学部  
 仙台高等専門学校 仙台青葉学院短期大学

また、他大学提供科目と他学部開講科目の一部がサテライトキャンパス（仙台市市民活動サポートセンター 6階 セミナーホール 青葉区一番町）で開講されています。

### 2019年度 学都仙台サテライトキャンパス開講科目

大学名	学部	学科（専攻）	対象学年	提供科目	単位	教員名	開講期
東北学院大学	法学部	法律学科	全※1	社会情勢論	2	井上義比古	後期 金※2

※1 「社会情勢論」は、法学部では3年次配当の科目です。そのため、法学部学生は、3年生以上の学生しか受講することができません。

※2 開講時間 19時10分～20時40分

## 17. GPA の取り扱いについて

東北学院大学では、2016年度より、成績通知表には評価点及びGPA（Grade Point Average）を表記することになりました。また、通知するGPAは、当該学期GPA及び累積GPAとします。

### 1. GPAとは

「GPA」(グレートポイントアベレージ)とは、各授業科目の成績評価(素点)に対応して4～0の評点「GP」(グレートポイント)を付与して算出する1単位当たりの成績評価平均値をいいます。

### 2. GP の配点

評価された成績の段階ごとに、次のGPを配点します。

- (1) S (90点～100点) GP = 4
- (2) A (80点～89点) GP = 3
- (3) B (70点～79点) GP = 2
- (4) C (60点～69点) GP = 1
- (5) D (0点～59点) GP = 0
- (6) H (試験放棄・履修放棄) GP = 0

### 3. GPA の計算方法

GPAの計算は、次のとおりとし、計算値は小数点第3位を四捨五入し小数点第2位までの数値を表記します。

- (1) 当該学期 GPA の計算式

$$\frac{(\text{当該学期に評価を受けた科目の GP} \times \text{その科目の単位数}) \text{の合計}}{\text{当該学期に評価を受けた科目の総単位数}}$$

- (2) 年間 GPA の計算式

$$\frac{(\text{当該学期に評価を受けた科目の GP} \times \text{その科目の単位数}) \text{の合計}}{\text{当該年度に評価を受けた科目の総単位数}}$$

- (3) 累積 GPA の計算式

$$\frac{(\text{過去に評価を受けた科目の GP} \times \text{その科目の単位数}) \text{の合計}}{\text{過去に評価を受けた科目の総単位数}}$$

### 4. 注意事項

- (1) 対象授業科目

GPAの算出の対象授業科目は、本学卒業要件科目で評価を受けた授業科目とします。ただし、本学以外で修得した授業科目又は入学前に修得した授業科目は、GPAの算出の対象授業科目としません。

- (2) 履修登録科目の辞退申請 (2016年度以降入学生)

履修登録科目の辞退申請をした科目は、GPAの算出の対象授業科目としません。ただし、辞退した科目の単位数は、履修上限単位数に含めます。

辞退申請期間

[前期] 5月21日(火) 8:30～23日(木) 17:00

[後期] 10月23日(水) 8:30～25日(金) 17:00

- (3) 2015(平成27)年度以前入学生は、成績通知書に表記されるGP及びGPA表記については参照程度として取り扱ってください。また、2019年度履修登録で一旦登録した科目の辞退申請はできません。

- (4) 「成績証明書」へのGP及びGPAの表記はありません。

※東北学院大学GPA制度は、2016年度入学生から適用されます。  
2015年度以前の入学生には適用されませんのでご注意ください。

## 18. 早期(3年次)卒業制度について(2019年度入学生)

### 「東北学院大学法学部早期卒業細則」『シラバス』参照

(1) 法学部では、卒業後に大学院・法科大学院に進学しようとする学生に対して、次の3つの要件を満たす場合、3年次で卒業を認める制度をおいています。

- ① 3年次終了までに大学院・法科大学院の入試に合格していること。
- ② 3年次終了までに卒業に必要な単位を修得していること。
- ③ 成績が特に優秀であること。

#### 要件①について

この制度の適用を受けるための進路は、大学院または法科大学院に限定され、それ以外の就職などは認められません。

#### 要件②について

卒業に必要な単位数は124単位ですが、この制度の適用を受けるためには、1年次・2年次において、それぞれ40単位を超えて履修登録をすることができません。3年次では3年次配当科目40単位に、4年次配当科目から12単位まで履修登録することができます(1年次・2年次:40単位×2=80単位、3年次:40単位+12単位)。

#### 要件③について

成績が特に優秀であるとは、1年次から3年次の全履修科目の平均点が82点以上であり(専門教育科目の平均点が80点以上)全履修科目のうち70点未満の科目が2科目以内であることです。

(2) 適用手続

この制度の適用を受けようとする場合、1・2年次では科目登録単位数が40単位を超えないようにし、かつ、全科目の成績が平均で最低限80点以上になるよう勉強しなければなりません(2年次に履修科目登録単位を44単位とした場合、2年次からこの制度の適用を受けることはできません)。登録した科目の放棄は2つまでしかできません。

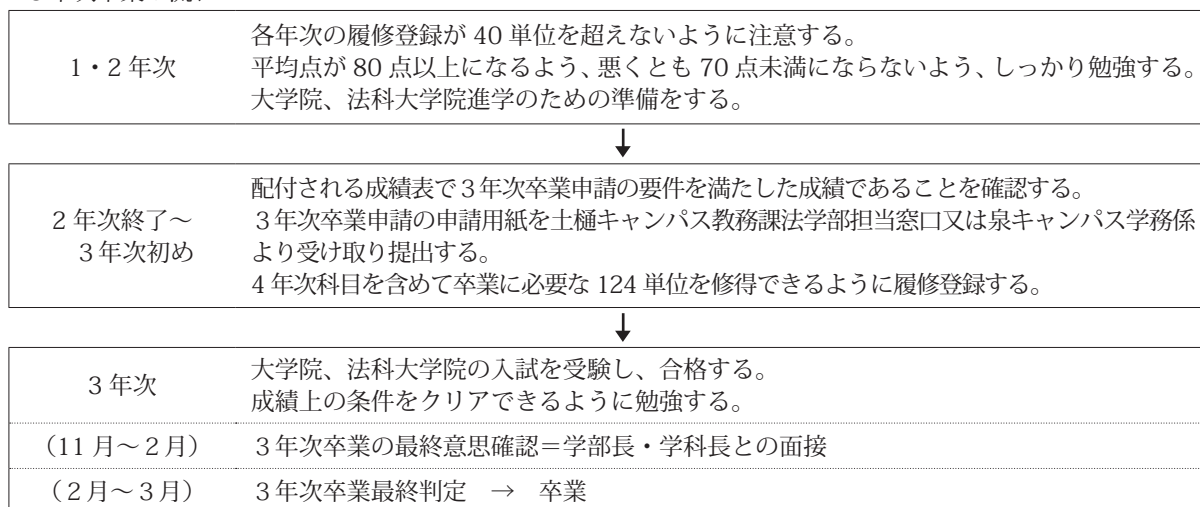
3年次では、1・2年次までの成績が要件を満たすことを確認して「早期卒業申請」を行い、認められた場合には、卒業に必要な履修科目登録(40単位+12単位)をすることになります。更に、大学院・法科大学院の入学試験に合格した後、成績条件の確認・判定を受けなければなりません。

なお、3年次卒業要件を満たさない場合であっても、3年次までに修得した単位は4年次卒業要件に含まれますから、それまでの努力が無駄になることはありません。

※詳細は、学部長・学科長及び学務担当教員に確認してください。

※早期卒業の申請期日は、掲示します。また、申請手続等の問い合わせは、学務係または教務課に申し出ること。

(3) 3年次卒業の流れ



◎ 2018年度以前入学生対象の「早期(3年次)卒業制度について」は履修支援サイトに掲載しています。

## 19. 教職課程（教育職員免許状を取得するには）

### （1）法学部で取得できる資格

法学部で取得できる学科課程に定められた資格は、以下の通りです。

学 科	教育職員免許状 中学校 一種	教育職員免許状 高等学校 一種
法律学科	社 会	地 理 歴 史 公 民

### （2）集中開講科目について

科目名	学科・学年	担当者
教育実習Ⅰ・Ⅱ	J 4	実習教科の担当者を登録してください。
介護体験実習	J 3	阿部重樹

### （3）実習費を納入しないと履修できない科目

下記の科目を履修するには、「実習費」を納入しなければなりません。

科目名	実習費	備 考
教 育 実 習（4年）	17,000円	ガイダンス・掲示板にてお知らせします。
介護体験実習（3年）	12,000円	実習費の納入については、オリエンテーション（4月中旬予定）で指示します。

※実習費の金額については変更になる場合もありますので、御了承ください。納入済の実習費は、理由の如何を問わず返還できませんので御注意ください。

### （4）資格登録手続き（3・4年生）

登録手順の全てが完了するまで受付期間・時間などを厳守してください。

（ア）資格の登録手順は次のとおりです。

履修計画「2019年度 授業時間割表(本人控)」に基づき、別冊子『My TG 利用マニュアル』を参照しながら、「東北学院ポータル My TG」にログインし、資格登録を完了してください。

（※期間中は何度でも修正・追加・削除は可能です。）

**登録期間：4月9日(月) 0:00～14日(日) 23:00**

**修正期間：4月18日(木) 8:30～21日(日) 23:00頃**

（イ）正しく登録されているか確認又は変更・削除したい場合は、上記の修正期間に手続きを完了してください。修正・追加・削除が無い場合は、そのまま完了となります。

（ウ）登録結果の確認

4月下旬～5月上旬（予定）に8号館2階通路のボードで登録結果を掲示しますので、確認してください。また、成績通知書でも確認ができます。

### （5）教職実践演習（中・高）の履修及び「履修カルテ」について

「教職実践演習(中・高)」(4年次後期)の履修には、教職課程について自らの学習履歴を記録する「履修カルテ」(本学では2年次からの開始)の作成が必要です。履修カルテの作成の仕方については、2年次はじめのガイダンスで説明します。**教職希望者は必ず出席してください。**(このガイダンスにて履修カルテシステム【manaba フォリオ】のID・パスワードの説明をします。)日程は、決定次第資格掲示板にてお知らせします。

4年次開講の「教職実践演習(中・高)」は、各自で履修する曜日校時が指定となります。詳細については、教育実習事前指導の中で指示します。(当日配付された資料は【manaba フォリオ】でも確認出来ますので、忘れずに登録をしてください。)

## (6) 科目が重複した場合について（教職課程のみ）

教職科目について、以下の場合に他学科を対象に開講されている同一授業科目を登録することができます。（定員がある科目、予備登録が必要な科目等については、登録できないことがあります。）

- 時間割上、同一曜日校時に科目が重複している場合  
（※重複していない科目を、他学科の授業に変更することはできません。）
- 昨年度以前に履修した科目を再履修する場合

### I. 履修上の注意

他学科の授業を履修できるのは、学科課程表の「教職等に関する科目」に分類されている科目です。

科目の例：「現代教職論」「教育課程論」「教育心理学」など。

### II. 手続の流れ

#### ① 科目の確認

- 科目重複の場合

時間割上で、どの曜日・校時に、どの科目とどの科目が重複しているのか確認する。

(例)：前期・火曜・3校時に「教育課程論」と「民法総則Ⅱ」が重複している。

⇒この場合、**教職に関する科目「教育課程論」**を他学科の時間帯で履修することが可能。

※教職に関する科目同士が重なった場合、どちらを移動するかについては、自身で選択することになります。

- 再履修の場合

再履修する教職科目のうち、どの科目を他学科授業へ変更するのか確認する。

- ② 移動したい科目が開講されている他の曜日・校時を他学科の時間割で調べる。
- ③ 申請用紙の提出

所定の申請用紙に必要事項を記入し、受付期間内に各キャンパス資格担当窓口へ提出する。

### III. 手続期間

「I. 履修上の注意」、「II. 手続の流れ」を熟読の上、手続を希望する場合は、以下の期間内に各キャンパスの資格担当窓口へ申し出てください。

<p>提出期間：4月9日(火)～4月12日(金) 17時(午後5時)まで 土樋キャンパス：教務課資格係(8号館2階) 泉キャンパス：学務係資格関係窓口(1号館1階)</p>
--

#### ※重要

提出した変更科目の My TG へのデータ反映は、4月下旬～5月上旬の予定です。変更した科目が画面に反映されているか確認ください。不明な点・間違い等がありましたら、教務課資格係・学務係まで問合せください。

また、3年生以上で、キャンパス間移動などの理由により履修できない科目がある場合も、上記の期間内に教務課資格係に申し出てください。

#### ○介護体験実習(主に3年生対象)

介護体験実習の申込みをした学生は、必ず「介護体験実習」(集中講義画面にあり)を登録してください。なお、実習のほかに土樋キャンパスにて集中講義(夏休み期間中)もあります。

## 20. 保証人への成績の送付について

保証人に対して年2回(4月、10月)「履修成績通知書」を送付します。前期試験の結果は10月、後期試験の結果は4月送付分に記載されます。

## 21. 卒業見込証明書の発行について

法学部では原則として3年次終了時で以下の基準を満たした人に限り卒業見込証明書を発行しています。詳細は、土樋キャンパス教務課法学部窓口でお尋ねください。

入学年度	3年次終了時での修得単位
2019年度入学生	78単位以上
2017～2018年度入学生	76単位以上
2013～2016年度入学生	80単位以上

## 22. こんな時どうするの？ (Q&A)

### ◆ 学生支援システム[My TG]について

#### Q：[My TG]へのログインID、パスワードって？

A：IDは学生番号(7桁)の前に半角小文字「s」を加えたものです。(s学生番号)

パスワードについては入学時の初期値は、生年月日(西暦を使用した8桁)に学生番号(7桁)を加え、97で割った計算結果の整数部分6ケタの前に半角小文字「tg」を付けたものです。

ログイン後は速やかにパスワードを任意のパスワード(8桁以上の英数字)に変更をしてください。また、各キャンパス設置の「自動証明書発行機」から証明書・申請書を発行する際にはこの同一のパスワードが必要です。

#### Q：[My TG]へのログインパスワードを忘れてしまいました。

A：連続して5回ログインに失敗した場合には、そのアカウントは一時的にロックされます。約30分後に再度ログインが可能となりますが、パスワードを忘れた場合には、各キャンパス「情報処理センター」(泉キャンパス：5号館3階、土樋キャンパス：8号館1階)に学生証持参の上、相談してください。

#### Q：[My TG]の「メール通知設定」って必ず設定しないとダメですか？

A：一般的な講義連絡、休講連絡、窓口からのお知らせ・呼び出し連絡等が確認できるものです。必ず設定をしてください。

※迷惑アドレス設定等が原因で登録が完了しない事例があります。また、アドレスが変更になった場合には速やかに設定を更新してください。

#### Q：引越したばかりで、インターネット環境がありません。

A：各キャンパスの「情報処理センター」を利用して必要な操作をしてください。また、なるべく早い段階でのインターネット環境の整備をお奨めします。

### ◆ [My TG]からの履修登録について

#### Q：スマートフォンからの履修登録はできますか？

A：できません。動作保証の対象外ですので、スマートフォンからは参照する目的のみで使用してください。登録作業の場合にはPC端末を利用してください。

#### Q：希望する授業科目の履修登録をしたつもりでしたが、登録されていませんでした。

A：履修登録及び修正登録の各期間を過ぎた場合の相談については、一切受けられません。機械的・システム的なエラーはこれまでも発生しておらず、学生自身による操作ミス、特にスマートフォン操作による履修登録作業が大半の原因です。履修登録が完了した場合には必ず「履修登録確認通知書」をファイル保管もしくは紙出力による保管をすることと、【My TG】のMy時間割をこまめに確認することを習慣としてください。

※【My TG】は30分間操作が無い場合にはセッションが切断されます。その場合にはログイン画面からの操作を再度行い、直前までの作業が反映されているか必ず確認をしてください。



登録期間中（履修登録、修正登録）にスマートフォンによる画面スクロールなどの操作時に□ボタンを触る又は押すなどの動作により、一旦履修登録した授業科目が削除されてしまう現象が確認されておりま  
す。登録内容確認並びに授業時間表を確認する際には十分注意してください。

**Q：年間履修上限単位って何ですか？**

A：各学年で1年間に履修登録できる単位数に一定の定義・設定することは義務づけられています。講義科目1科目あたり、1時間(正確には90分)の授業に対し、2時間の予習、2時間の復習が必要であることを根拠に単位数として制限をしております。そのため、安易に多くの科目を履修してひとつひとつの科目の学修時間が少なくなることを防ぐこととしています。

**Q：履修単位と修得単位の違いがわかりません。**

A：履修単位とは履修登録をした科目の単位であり、修得単位とは履修登録した科目の成績評価が60点以上の合格点により、修得できた総単位数です。進級・卒業に必要な単位だけではなく、資格科目のように進級・卒業に必要なではない科目の単位数も含まれています。

**Q：後期修正登録って？**

A：前期に修得した単位修得状況等を考慮し、後期開講科目を修正登録するものです。59点以下の評価により修得できなかった単位相当分の科目を新たに追加できるものではありませんので注意して下さい。

※入学年度によってはこの後期修正登録ができない場合があります。

**Q：GPA (Grade Point Average)とGP (Grade Point) って？**

A：GPAとは各授業科目の成績から特定の計算式で成績評価の平均点を算出するものであり、本学も2016(平成28)年度から成績評価指標として取り入れているもので、自分の成績の全体像を示す値として使うことができます。なお、GPAのデータは学科ごとに公開を予定しています。また、GPとは成績評価結果を数字(100点満点)表記ではなく、アルファベットで段階表記する方法です。(本学の場合は「成績通知書」への表記は数字の評価とGP評価の両方を表記することにしています。ただし、このGPAが他の人に比べて低い(下位4分の1以下)場合には、注意を受けることになります。2015(平成27)年度以前に入学した学生は参考程度に利用して下さい。)

**Q：履修辞退申請って？**

A：2016(平成28)年度入学の1年生から、GPA(Grade point Average)による成績評価制度を導入しています。前述のとおり授業科目の評価は、100点満点による素点で評価をしておりますが、加えてGP(Grade Point)での評価も「成績通知書」に表記することにしました。

授業放棄科目や修得困難が予測される授業科目の評価が大きく結果に影響することから、その授業科目の履修登録を辞退することを可能にしたものです。ただし、単位を取れそうにないからといって安易に辞退すると、進級や卒業に必要な単位数を満たせなくなる危険があるので注意してください。2015(平成27)年度以前に入学した学生はこの履修辞退申請の対象ではありません。

**Q：配付された「授業時間表」の旧課程って？**

A：入学年度毎に各学科の理念・目的がどのような授業科目の修得を学生に期待するかを定め、その内容が変更されることがあります。そのため、授業時間割表等では最新の学科課程(カリキュラム)と、1つ以上前の学科課程を便宜上総称した「旧課程」も表記しています。自分の入学年度の学科課程を良く理解して諸手続きを行ってください。

**Q：配付された「授業時間表」に履修希望科目が表記されていますが、[My TG]の履修登録可能画面にはその科目がありません。**

A：考えられることは①「既に修得している科目」である、②学科課程の「対象学年が異なる科目」である、③所属するグループによる受講者は制限されている科目やその他の事情により受講者が制限されている科目、④履修登録をする前に抽選が必要であった科目、⑤前年度に予備登録が必要であった科目であることが考えられます。その内どれにも該当しない場合には各キャンパス学務係窓口(土樋キャンパスは教務課各学部窓口)に相談してください。

#### ◆授業全般について

**Q：教室番号表示は何かルールがあるのでしょうか？**

A：一定のルールがあります。数字一番左側を号館(建物の名称、例：2号館の場合は“2”)、数字真中は階数(例：2階の場合は“2”)、右側は階毎の連番です。従って、教室番号が222教室は2号館の2階にある2番教室であることを意味します。

**Q：授業休講の確認はどうやってするのでしょうか？**

A：【My TG】から確認してください。あわせて各キャンパスにある休講掲示板でも確認してください。

**Q：体調不良により、授業を欠席してしまいました。どうしたら良いのでしょうか？**

A：医療機関での診察を受け速やかな回復に努め、医療機関の発行する書類(領収書または処方説明等)持参の上、各キャンパス学務係窓口(土樋キャンパスは教務課各学部窓口)に相談してください。なお、診察日以外の欠席は認められません。(複数日にわたっての欠席の場合には、その期間療養が必要である旨を記した診断書が必要となります。)また、欠席手続きは速やかに行ってください。

医療機関の診察を受けずに欠席した場合には、学生手帳記載の「所定以外の欠席届見本」を参考に手続きをしてください。また、インフルエンザ、感染性胃腸炎、ノロウイルス感染等による場合には「感染症治癒 登校許可証明書」に診察した医療機関の証明を受けて提出する必要があります。「感染症治癒 登校許可証明書」の用紙は各キャンパス学務係窓口(土樋キャンパスは教務課各学部窓口)で受け取るか、大学ホームページ(【在学生・保護者の方へ】→【授業・試験・成績】)からダウンロードしてください。

**Q：公共交通機関の遅延によって、授業に遅れてしまいました。どうしたら良いのでしょうか？**

A：公共交通機関の発行する「遅延証明」等を持参し、各キャンパス学務係窓口(土樋キャンパスは教務課各学部窓口)に相談してください。(運休の場合には「運休証明」等を持参してください。)

天気予報等により積雪等が予想されている場合は、早めに通学の準備をすることに努めてください。

※欠席届は俗にいう「公欠」(公認欠席)の取扱いではありません。指定の欠席届を受け取った教員により様々です。つまり担当教員の裁量によるものです。

**Q：大型台風が宮城県接近の予報がありますが、授業は通常のとおり実施されるのでしょうか？**

A：天気予報等による宮城県付近の台風通過が予報され、大多数の学生に影響がでることが予測される場合、前日の午後7時までに翌日の2校時までの休講について決定し、翌日の3校時以降の休講については、当日の午前10時までに決定し、連絡(報道機関、大学ホームページ、My TG等を利用)をすることとしています。

**Q：manabaについて教えてください。**

A：本学で2017(平成29)年度から全学部導入を開始した教育・学習支援システムであり、インターネットが利用できるパソコンやタブレット端末、スマートフォンからいつでも、どこからでもアクセスできるものです。

**Q：manabaって何をやるものですか？**

A：様々なツールがあり、代表的な利用は以下の4点です。

- ① 小テストや反復学習用のドリルとして利用ができます。
- ② プロジェクト学習の際、チームを作成し、チーム毎にディスカッションやレポート提出をすることができます。
- ③ 授業科目毎に担当教員からの教材を事前に受け取り予習・復習に活用することができます。
- ④ r e s p o n(レスポンス)アプリを利用して教室内での出席登録やアンケート提出に利用します。

※従来型携帯電話(フィーチャーフォン)での利用にはかなりの制限があります。スマートフォンもしくはタブレット端末の携帯を推奨します。

**履修計画(単位の集計)を見誤っている事例が毎年発生しています。  
【MyTG】で公開される「履修登録科目確認通知書」または「成績通知書」  
は都度必ず確認してください。**

## 23. 専門教育科目とコース別卒業要件（コース選択用判別シート）

- ★この表は、専門教育科目のコース別卒業要件に対する修得単位数をチェックするためのものです。
- ★チェック欄にマーク(✓や○)を入れ、自分が希望しているコースでの修得状況を確認してください。
- ★卒業するためには、コース別卒業要件のほかに、教養教育科目、地域教育科目、外国語科目などで定められている卒業要件単位数を充たす必要があります。

### ○2019年度入学生用

区分	授業科目	配当学年	単位数	チェック	コースの名称と卒業要件		
					政策・行政	企業法務	法律専門職
導人科目	法学部生入門	1	2		4	4	4
	法学の基礎	1	2				
	政策・行政入門	1	2				
第一類（公法）	憲法Ⅰ	1	2		8	4	8
	憲法Ⅱ	1	2				
	憲法Ⅲ	2	2				
	憲法Ⅳ	2	2				
	行政法総論Ⅰ	3	2				
	行政法総論Ⅱ	3	2				
	租税法Ⅰ	3	2				
	租税法Ⅱ	3	2				
	行政法各論Ⅰ	4	2				
	行政法各論Ⅱ	4	2				
	行政救済法	4	2				
	経済法Ⅰ	4	2				
	経済法Ⅱ	4	2				
環境法	4	2					
社会保障法	4	2					
第二類（民法）	民法総則Ⅰ	1	2		10	18	16
	家族法Ⅰ	1	2				
	民法総則Ⅱ	2	2				
	物権法Ⅰ	2	2				
	債権法各論Ⅰ	2	2				
	会社法Ⅰ	2	2				
	民事手続法入門	2	2				
	物権法Ⅱ	2	2				
	債権法総論Ⅰ	3	2				
	債権法総論Ⅱ	3	2				
	債権法各論Ⅱ	3	2				
	家族法Ⅱ	3	2				
	会社法Ⅱ	3	2				
	会社法Ⅲ	3	2				
	商法Ⅰ（総論）	3	2				
	商法Ⅱ（証券・決済）	3	2				
	金融法	3	2				
	民事訴訟法Ⅰ	3	2				
	民事訴訟法Ⅱ	3	2				
	民事執行法・保全法	3	2				
倒産法	3	2					
労働法Ⅰ	3	2					
労働法Ⅱ	3	2					
知的財産法Ⅰ	3	2					
知的財産法Ⅱ	3	2					
商法Ⅲ（商取引・保険）	4	2					
第三類（刑事法）	刑法総論Ⅰ	2	2		4	2	8
	刑法総論Ⅱ	2	2				
	刑法各論Ⅰ	3	2				
	刑法各論Ⅱ	3	2				
	刑事訴訟法Ⅰ	3	2				
	刑事訴訟法Ⅱ	3	2				
	刑事政策Ⅰ	4	2				
刑事政策Ⅱ	4	2					

区分	授 業 科 目	配 当 学 年	単 位 数	チ エ ッ ク	コースの名称と卒業要件		
					政策・行政	企 業 法 務	法律専門職
専 門 教 育 科 目	第四類 (基礎法)	法 制 史 I	3	2			
		法 制 史 II	3	2			
		法 哲 学 I	4	2			
		法 哲 学 II	4	2			
		日 本 法 と 外 国 法	4	2			
		法 文 化 論	4	2			
	第五類 (国際法)	国 際 法 I	2	2			
		国 際 法 II	2	2			
		国 際 法 III	3	2			
		国 際 法 IV	3	2			
		国 際 私 法	3	2			
	第六類 (政治学)	国 際 経 済 法	4	2			
		政 治 学 I	3	2			
		政 治 学 II	3	2			
		国 際 政 治 論 I	3	2			
		国 際 政 治 論 II	3	2			
		地 方 自 治 論 I	3	2			
		地 方 自 治 論 II	3	2			
		行 政 学 I	3	2			
		行 政 学 II	3	2			
		政 治 思 想 史 I	4	2			
		政 治 思 想 史 II	4	2			
		比 較 政 治 論 I	4	2			
	比 較 政 治 論 II	4	2				
	平 和 学	4	2				
	第七類 (演習)	基 礎 演 習 I	1	2			
		法 曹 養 成 実 習 I	1	2			
		基 礎 演 習 II	2	2			
		法 曹 養 成 実 習 II	2	2			
		演 習 一 部	3	4			
		コ ー ス 総 合 演 習 A	3	2			
		コ ー ス 総 合 演 習 B	3	2			
		外 国 書 講 読	3	4			
法 曹 養 成 実 習 III		3	2				
演 習 二 部		4	4				
卒 業 試 験	4	2					
第 八 類	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 技 能	1	2				
	経 済 原 論 I	2	2				
	経 済 原 論 II	2	2				
	国 際 経 済 論 I	2	2				
	国 際 経 済 論 II	2	2				
	海 外 研 究 I	2	2				
	海 外 研 究 II	2	2				
	財 政 学 I	3	2				
	財 政 学 II	3	2				
	法 学 専 門 技 能	3	2				
	社 会 保 障 論 I	4	2				
	社 会 保 障 論 II	4	2				
第九類	専 門 特 殊 講 義	3	2				
小 計		3	2	36	36	38	
残り単位数					40	40	38

○2017～2018年度入学生用

区分	授業科目	配当学年	単位数	チェック	コースの名称と卒業要件			
					政策・行政	企業法務	法律専門職	
専門教育科目	導入科目	法学部生入門	1	2	4	4	4	
		法学の基礎	1	2				
		政策・行政入門	1	2				
	第一類（公法）		憲法Ⅰ	1	2	8	4	8
			憲法Ⅱ	1	2			
			憲法Ⅲ	2	2			
			憲法Ⅳ	2	2			
			行政法総論Ⅰ	3	2			
			行政法総論Ⅱ	3	2			
			行政法各論Ⅰ	4	2			
			行政法各論Ⅱ	4	2			
			行政救済法	4	2			
			経済法Ⅰ	4	2			
			経済法Ⅱ	4	2			
			税法	4	2			
		環境法	4	2				
		社会保障法	4	2				
	第二類（民法）		民法総則Ⅰ	1	2	10	18	16
			家族法Ⅰ	1	2			
			民法総則Ⅱ	2	2			
			物権法Ⅰ	2	2			
			債権法各論Ⅰ	2	2			
			会社法Ⅰ	2	2			
			民事手続法入門	2	2			
			物権法Ⅱ	2	2			
			債権法総論Ⅰ	3	2			
			債権法総論Ⅱ	3	2			
			債権法各論Ⅱ	3	2			
			家族法Ⅱ	3	2			
			会社法Ⅱ	3	2			
			会社法Ⅲ	3	2			
			商法Ⅰ（総論）	3	2			
			商法Ⅱ（証券・決済）	3	2			
		金融法	3	2				
		民事訴訟法Ⅰ	3	2				
		民事訴訟法Ⅱ	3	2				
		民事執行法・保全法	3	2				
	倒産法	3	2					
	労働法Ⅰ	3	2					
	労働法Ⅱ	3	2					
	知的財産法Ⅰ	3	2					
	知的財産法Ⅱ	3	2					
	商法Ⅲ（商取引・保険）	4	2					
第三類（刑事法）		刑法総論Ⅰ	2	2	4	2	8	
		刑法総論Ⅱ	2	2				
		刑法各論Ⅰ	3	2				
		刑法各論Ⅱ	3	2				
		刑事訴訟法Ⅰ	3	2				
		刑事訴訟法Ⅱ	3	2				
		刑事政策Ⅰ	4	2				
	刑事政策Ⅱ	4	2					

区分	授業科目	配当学年	単位数	チェック	コースの名称と卒業要件						
					政策・行政	企業法務	法律専門職				
専門教育科目	第四類(基礎法)	法制史 I	3	2		6					
		法制史 II	3	2							
		法哲学 I	4	2							
		法哲学 II	4	2							
		日本法と外国法	4	2							
		法文化論	4	2							
	第五類(国際法)	国際法 I	2	2							
		国際法 II	2	2							
		国際法 III	3	2							
		国際法 IV	3	2							
		国際私法	3	2							
		国際経済法	4	2							
	第六類(政治学)	政治学 I	3	2					8		
		政治学 II	3	2							
		国際政治論 I	3	2							
		国際政治論 II	3	2							
		地方自治論 I	3	2							
		地方自治論 II	3	2							
		行政学 I	3	2							
		行政学 II	3	2							
		政治思想史 I	4	2							
		政治思想史 II	4	2							
		比較政治論 I	4	2							
		比較政治論 II	4	2							
	平和学	4	2								
	第七類(演習)	基礎演習 I	1	2					2	2	2
		法曹養成実習 I	1	2							
		基礎演習 II	2	2							
		法曹養成実習 II	2	2							
		演習一部	3	4							
		コース総合演習 A	3	2							
		コース総合演習 B	3	2							
		外国書講読	3	4							
		法曹養成実習 III	3	2							
		演習二部	4	4							
	卒業試験	4	2								
第八類	コミュニケーション技能	1	2								
	経済原論 I	2	2								
	経済原論 II	2	2								
	国際経済論 I	2	2								
	国際経済論 II	2	2								
	海外研究 I	2	2								
	海外研究 II	2	2								
	財政学 I	3	2								
	財政学 II	3	2								
	法学専門技能	3	2								
	社会保障論 I	4	2								
	社会保障論 II	4	2								
第九類	専門特殊講義	3	2								
小計		3	2		36	36	38				
残り単位数					38	38	36				

○2013～2016年度入学生用

区分	授業科目	配当学年	単位数	チェック	コースの名称と卒業要件					
					政策行政	企業法務	国際法務	法律専門職	法曹養成	総合法務
導入科目	大学生活入門	1	2							
	法学の基礎	1	2		4	4	4	4	4	4
	法的思考入門	1	2							
第一類（公法）	憲法 I	1	2							
	憲法 II	1	2							
	憲法 III	2	2							
	憲法 IV	2	2							
	行政法総論 I	3	2							
	行政法総論 II	3	2							
	行政法各論 I	4	2		8	6	4	8	8	4
	行政法各論 II	4	2							
	行政救済法	4	2							
	経済法 I	4	2							
	経済法 II	4	2							
	税法	4	2							
環境法	4	2								
社会保障法	4	2								
第二類（民事法）	民法総則 I	1	2							
	家族法 I	1	2							
	民法総則 II	2	2							
	物権法 I	2	2							
	債権法各論 I	2	2							
	会社法 I	2	2							
	民事手続法入門	2	2							
	物権法 II	3	2							
	物権法 III	3	2							
	債権法総論 I	3	2							
	債権法総論 II	3	2							
	債権法各論 II	3	2							
	家族法 II	3	2							
	商法総論	3	2		10	20	10	20	24	10
	会社法 II	3	2							
	会社法 III	3	2							
	手形法・小切手法	3	2							
	民事訴訟法 I	3	2							
	民事訴訟法 II	3	2							
	民事訴訟法 III	3	2							
民事執行法・保全法	3	2								
労働法 I	3	2								
労働法 II	3	2								
知的財産法 I	3	2								
知的財産法 II	3	2								
商取引法	4	2								
保険法	4	2								
倒産法	4	2								
労働法 III	4	2								
第三類（刑事法）	刑法総論 I	2	2							
	刑法総論 II	2	2							
	刑法各論 I	3	2							
	刑法各論 II	3	2							
	刑事訴訟法 I	3	2		4	4	4	6	8	4
	刑事訴訟法 II	3	2							
	刑事政策 I	4	2							
刑事政策 II	4	2								

区分	授業科目	配当学年	単位数	チェック	コースの名称と卒業要件						
					政策行政	企業法務	国際法務	法律専門職	法曹養成	総合法務	
専門教育科目	第四類(基礎法)	西洋法制史Ⅰ	3	2							
		西洋法制史Ⅱ	3	2							
		日本法制史Ⅰ	3	2							
		日本法制史Ⅱ	3	2							
		ローマ法	3	2							
		英米法	3	2							
		法哲学Ⅰ	4	2							
		法哲学Ⅱ	4	2							
		ドイツ法	4	2							
	フランス法	4	2								
	法文化論	4	2								
	第五類(国際法)	国際法一部Ⅰ	2	2							
		国際法一部Ⅱ	2	2							
		国際法二部Ⅰ	3	2							
		国際法二部Ⅱ	3	2							
		国際私法	3	2							
		国際経済法	4	2							
		国際取引法	4	2							
	国際人権・人道法	4	2								
	第六類(政治学)	政治学Ⅰ	3	2							
		政治学Ⅱ	3	2							
		国際政治論Ⅰ	3	2							
		国際政治論Ⅱ	3	2							
		地方自治論Ⅰ	3	2							
		地方自治論Ⅱ	3	2							
		行政学Ⅰ	3	2							
		行政学Ⅱ	3	2							
		政治思想史Ⅰ	4	2							
		政治思想史Ⅱ	4	2							
		比較政治論Ⅰ	4	2							
	比較政治論Ⅱ	4	2								
	平和学	4	2								
	第七類(演習)	基礎演習Ⅰ	1	2							
		基礎演習Ⅱ	2	2							
		演習一部	3	4							
		外国書講読Ⅰ(英語)	3	4							
		外国書講読Ⅱ(ドイツ語)	3	4							
		外国書講読Ⅲ(フランス語)	3	4							
		演習二部	4	4							
	第八類	コミュニケーション技能	1	2							
		経済原論Ⅰ	2	2							
		経済原論Ⅱ	2	2							
国際経済論Ⅰ		2	2								
国際経済論Ⅱ		2	2								
海外研究Ⅰ		2	2								
海外研究Ⅱ		2	2								
財政学Ⅰ		3	2								
財政学Ⅱ		3	2								
法学専門技能		3	2								
社会保障論Ⅰ		4	2								
社会保障論Ⅱ	4	2									
第九類	専門特殊講義	3	2								
小計					36	36	36	38	44	34	
自由科目	法曹養成実習Ⅰ	1	2								
	法曹養成実習Ⅱ	2	2								
	法曹養成実習Ⅲ	3	2								
残り単位数					42	42	42	40	34	44	



# 2019年度 授業時間割表

本人控 (Web 入力用)

学部

学科

年 G 学生番号：

氏名：

[通年・前期]

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土曜日		前期集 資格関係実習科目 総合研究	
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数
1校時	<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	
2校時	<input type="checkbox"/>	単位	<input type="checkbox"/>	単位	<input type="checkbox"/>	単位	<input type="checkbox"/>	単位	<input type="checkbox"/>	単位	<input type="checkbox"/>	単位	<input type="checkbox"/>	単位
3校時	<input type="checkbox"/>	単位	<input type="checkbox"/>	単位	<input type="checkbox"/>	単位	<input type="checkbox"/>	単位	<input type="checkbox"/>	単位	<input type="checkbox"/>	単位	<input type="checkbox"/>	単位
4校時	<input type="checkbox"/>	単位	<input type="checkbox"/>	単位	<input type="checkbox"/>	単位	<input type="checkbox"/>	単位	<input type="checkbox"/>	単位	<input type="checkbox"/>	単位	<input type="checkbox"/>	単位
5校時	<input type="checkbox"/>	単位	<input type="checkbox"/>	単位	<input type="checkbox"/>	単位	<input type="checkbox"/>	単位	<input type="checkbox"/>	単位	<input type="checkbox"/>	単位	<input type="checkbox"/>	単位

※事前にこの表に履修(授業)計画を記入してから「My TG」にログインし履修登録を完了してください。  
**⚠️ スマートフォンでの履修登録はトラブルの原因となります。パソコンを使用して履修登録しましょう。**

**[後期]** ※ My TG の後期画面では、前期画面で入力した通年科目も表示されます。

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土曜日	
	<input checked="" type="checkbox"/> 科目名 担当教員名 単位数	<input checked="" type="checkbox"/> 科目名 担当教員名 単位数	<input checked="" type="checkbox"/> 科目名 担当教員名 単位数	<input checked="" type="checkbox"/> 科目名 担当教員名 単位数	<input checked="" type="checkbox"/> 科目名 担当教員名 単位数	<input checked="" type="checkbox"/> 科目名 担当教員名 単位数	<input checked="" type="checkbox"/> 科目名 担当教員名 単位数	<input checked="" type="checkbox"/> 科目名 担当教員名 単位数	<input checked="" type="checkbox"/> 科目名 担当教員名 単位数	<input checked="" type="checkbox"/> 科目名 担当教員名 単位数	<input checked="" type="checkbox"/> 科目名 担当教員名 単位数	<input checked="" type="checkbox"/> 科目名 担当教員名 単位数
1校時												
2校時												
3校時												
4校時												
5校時												

後期資格関係 総合	後期集中講義 科目	後期中期講習 科目	後期研究 科目
<input checked="" type="checkbox"/>			

※事前にこの表に履修(授業)計画を記入してから「My TG」にログインし履修登録を完了してください。  
**⚠️ スマートフォンでの履修登録はトラブルの原因となります。パソコンを使用して履修登録しましょう。**

## ■科目登録関連資料の Web での提供



My TG ログイン直後のポータル画面左側の「校内リンク」にある**履修支援サイト**から提供する資料もありますので、参照してください。

### 2019 年度 履修科目登録要項〔法学部〕

土樋キャンパス

教務課〔法学部窓口〕

電話番号：022-264-6380

泉キャンパス

学務係

電話番号：022-375-1141

※学生への連絡・呼び出しは、My TG もしくは掲示板にて実施いたしますが、急な連絡等の場合には上記電話番号から連絡をする場合があります。

